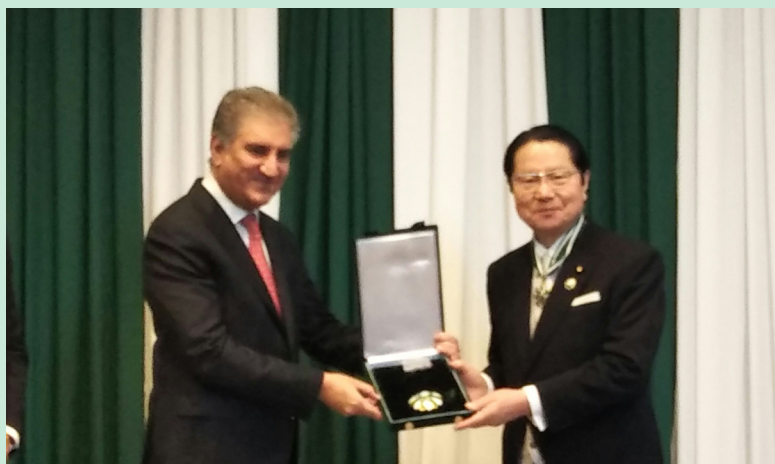


NO : 266
2019/ 8

パーキスターン



衛藤征士郎日本パキスタン友好議員連盟会長に
パキスタンの勲章が授与

パキスタン農業の新しい風
ー契約農業とアグリビジネスー

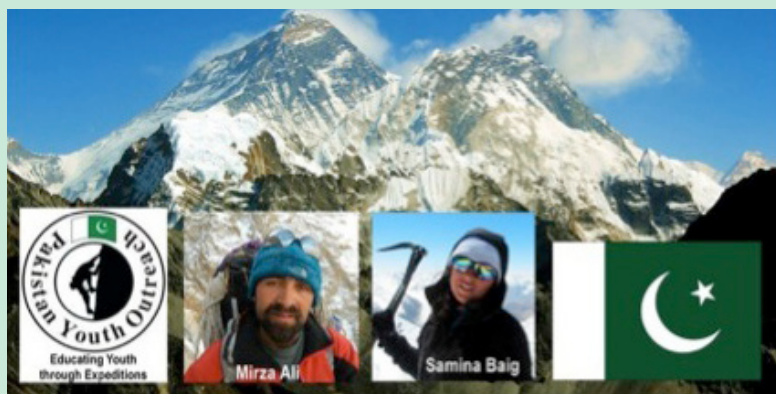
黒崎卓

パキスタン財閥の出発的背景について

川満直樹



カウワーリーがやって来る！ 村山和之



パキスタン人男性初の7大陸最高峰登頂者～ ミルザ・アリ氏
寺沢玲子



東京写真月間 2019
アジアの写真家たち パキスタン

私の一枚



パキスタン大統領府での
勲章授与式後の記念写真

◆ 目 次 ◆

平成30年度協会決算等承認……………	(1)
衛藤征士郎日本パキスタン友好議員連盟会長にパキスタンの勲章が授与……………	(9)
パキスタン農業の新しい風－契約農業とアグリビジネス－…………… 黒崎卓	(10)
パキスタン財閥の出発的背景について…………… 川満直樹	(16)
カウワーリーがやって来る！…………… 村山和之	(21)
パキスタン人男性初の7大陸最高峰登頂者～ミルザ・アリ氏…………… 寺沢玲子	(29)
東京写真月間「アジアの写真家たち 2019 パキスタン」開催……………	(33)
第21回日本・パキスタン協会料理教室に参加して…………… 仲村安広	(35)
私の一枚 (150) …………… 今泉濤	(39)
人と食、それは愛。そしてパキスタン (その39)…………… シャー真理子	(40)
パキスタン・ニュース……………	(41)

平成 30 年度 協 会 決 算 等 承 認

当協会の平成 31 年度理事会と定時評議員会が開催され、3つの議案が可決されました。

○理事会：6月5日（水）午後3時から伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社の本社で開催されました。

○定時評議員会：6月26日（水）午後2時から赤坂の永楽倶楽部で開催されました。

第1号議案の平成30年度決算は原案通り可決されました。

第2号議案の理事選任の件は原案通り可決されました。

第3号議案の法人、個人会員の新規入会の件は、新規に法人会員5社の入会が報告され了解されました。

理事法人会員には株式会社博報堂が入会され、普通法人会員には関西ペイント株式会社、日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社、トヨタ紡織株式会社、株式会社インターloopジャパンの4社が入会されました。

入会にご協力頂きました理事会社の方々には、深く感謝申し上げます。

個人会員には2名の入会がありました。



会場：伊藤忠丸紅鉄鋼 会議室

平成 30 年度 事業報告

[I] 事業活動

当協会は、日本とパキスタン両国間の相互理解の促進を目的とした諸事業を推進する。本年度は、以下の通りの事業を実施した。

1. 機関誌の発行

電子版の会報『パーキスターン』を3回発行した。

会報262号 平成30年4月

会報263号 平成30年8月

会報264号 平成30年12月

2. シンポジウム、セミナー、講座・教室等の開催

(1) シンポジウムの開催

開催実績：毎年1回秋に開催し、本年度は32回目を迎えた。

日時： 平成30年11月17日（土）10：30～20：00

会場： 日本大学文理学部3号館3308教室

プログラム：

開会挨拶：(公財)日本・パキスタン協会 会長 今泉 濤

パキスタン紹介：アリ・アンサー・ザイディ パキスタン大使館参事官

講演1：「最近のパキスタン情勢」協会会員 中野勝一

講演2：メインテーマ：「わが愛・パキスタンマンゴー」

・「私にとってのパキスタン農業」明治学院大学名誉教授 平島成望

・「語りつくせぬマンゴーの旨味」大阪大学大学院言語文化研究科教授
山根 聡

・「詩人ガーリブのマンゴー礼賛」大東文化大学名誉教授 片岡弘次

・「マンゴー万歳」当協会評議員 深町宏樹

・「パキスタンマンゴー」和新トレーディング株式会社取締役

ミアン・ラムザン・シディーク

・「パキスタンマンゴーパウンドケーキ」当協会会員 大山純一郎

パネル・ディスカッション 司会 丸山 純

参加者：44名

(2) パキスタン進出企業情報交換会の開催

パキスタンに進出している企業あるいは今後進出しようとしている企業の事業展開に有用となる情報を交換する場として、適宜開催している。

本年度は、他の行事開催のため開催せず。

(3) カーン大使との夕食懇談会の開催

協会の理事、監事、評議員の方々にお集まりいただき、アサド・マジード・カーン駐日パキスタン大使との夕食懇談会を開催した。

大使からパキスタンの状況についてお話を伺い、その後質疑応答が行われた。

大使館から、大使の他、アリ・アンサー・ザイディ参事官、シラズ・アハマドハン武官、アシュハク・アハマド・カ ril 報道官他の方々が出席された。

協会幹部とパキスタン大使館の方々との面識が出来、双方にとって意義のある会となった。

開催日時：平成30年9月14日（火）19：00～21：00

会場：パキスタン大使館内大使公邸

参加者：24名

(4) パキスタン料理教室の開催

パキスタンの食について実際に体験する場を提供している。今年度は1回開催した。

第20回 開催日時：平成30年12月15日(土)

会場：セッション杉並

講師：パキスタン料理研究家 シャー真理子

参加者：12名

3. 梁井寄付金の件

協会は、本寄附金に関し、費消分を除いた残金9,230,220円を寄付者に返金して本事業を終結した。

4. 情報提供

(1) 外務省、パキスタン大使館その他からの入手情報を迅速・的確に提供した。

(2) 個人会員向けを中心としたe-mail情報により、パキスタン関連の講演会、催しなどの情報を提供した。

(3) ホームページを活用し、新鮮な情報を発信した。

5. 面談、外部会合への参加等

平成30年4月9日(月)：会長、久保田副会長、渋谷副会長、専務理事の4名で梁井寄付金の件を話し合い

(於：品川プリンスホテル)

平成30年4月11日(水)：梁井夫人、会長、専務理事の3人で話し合い

(於：目黒・都ホテル)

平成30年4月26日(木)：会長と専務理事で梁井寄付金について打合せ、梁井夫人に書簡発信 (於：永楽倶楽部)

平成30年5月21日(月)：梁井夫人に「寄付業務解約合意書」を発信

平成30年5月24日(木)：監事による監査実施 (於：協会事務所)

平成30年5月25日(金)：梁井夫人に、寄付金の残金を送金

平成30年6月28日(木)：シンポジウム企画会議開催

(於：永楽倶楽部)

平成30年6月29日(金)：内閣府へ平成29年度事業報告を提出

平成30年8月10日(金)：パキスタンフェスティバルに出席

(於：上野公園)

平成30年9月14日(金)：カーン駐日パキスタン大使との夕食懇談会を開催

(於：パキスタン大使館内大使公邸)

平成30年10月11日(木)：パキスタン大使館主催「パキスタン・セミナー IN 名古屋」に出席し挨拶 (於：名古屋商工会議所)

平成 30 年 10 月 12 日 (木) : カーン大使と共に、豊田通商加留部会長を訪問、その後
にトヨタ自動車本社で河合副社長を訪問
平成 30 年 10 月 23 日 (火) : JICA 原部長、根本課長と面談 (於 : 永楽倶楽部)
平成 30 年 11 月 2 日 (金) : 出光興産滝沢氏と面談 (於 : 永楽倶楽部)
平成 30 年 11 月 8 日 (木) : ジェトロ創立 60 周年記念事業に参加
(於 : ホテルニューオータニ)
平成 30 年 11 月 17 日 (土) : 第 32 回シンポジウム開催 (於 : 日本大学文理学部)
平成 30 年 12 月 10 日 (月) : パキスタンからアブドゥル・ラザーク・ダーウード首相
顧問が来日、歓迎式典に出席
(於 : パキスタン大使館)
平成 31 年 1 月 22 日 (火) : 外務省松田邦紀新大使と面談 (於 : 外務省)
平成 31 年 1 月 28 日 (月) : 外務省アジア大洋州大使会議後のレセプションに参加
(於 : 外務省飯倉別館)
平成 31 年 1 月 29 日 (火) : カーン大使送別レセプションに参加
(於 : パキスタン大使館)
平成 31 年 3 月 1 日 (金) : YKK 猿丸会長と面談 (於 : YKK 本社)

[II] 理事会、評議員会

平成 30 年 5 月 23 日 (水) 平成 30 年度第 1 回理事会開催 (書面決議)
決議事項 : 第 1 号議案 : 理事候補 3 名選出の件
第 2 号議案 : 評議員候補 1 名推薦の件
平成 30 年 5 月 28 日 (月) 平成 30 年度第 1 回評議員会開催 (書面決議)
決議事項 : 第 1 号議案 : 理事 3 名選任の件
第 2 号議案 : 評議員 1 名選任の件
平成 30 年 6 月 5 日 (火) 平成 30 年度第 2 回理事会開催
開催場所 : 株式会社 電通 本社
決議事項 : 第 1 号議案 : 平成 29 年度事業報告並びに決算書類承認の件
第 2 号議案 : 理事、監事選出の件
第 3 号議案 : 平成 30 年度定時評議員会開催の件
第 4 号議案 : 出張旅費規程新設の件
第 5 号議案 : 梁井寄付金報告の件
出席等 : 理事 15 名、監事 1 名、来賓 2 名、傍聴 2 名
平成 30 年 6 月 25 日 (月) 平成 30 年度定時評議員会開催
決議事項 : 第 1 号議案 : 平成 29 年度事業報告並びに決算書類承認の件
第 2 号議案 : 評議員並びに理事、監事選任の件
第 3 号議案 : 出張旅費規程新設の件
第 4 号議案 : 梁井寄付金報告の件

出席等　：評議員 3 名

平成 30 年 7 月 9 日 (月) 平成 30 年度第 3 回理事会開催 (書面決議)

決議事項：第 1 号議案：会長、副会長、専務理事選任の件

平成 31 年 1 月 15 日 (火) 平成 30 年度第 4 回理事会開催 (書面決議)

決議事項：第 1 号議案：理事 1 名選出の件

平成 31 年 2 月 1 日 (金) 平成 30 年度第 3 回評議員会開催 (書面決議)

決議事項：第 1 号議案：理事 1 名選任の件

平成 31 年 3 月 11 日 (月) 平成 30 年度第 5 回理事会開催

開催場所：日本放送協会 放送センター 会議室

決議事項：第 1 号議案：平成 31 年度事業計画並びに収支予算承認の件

出席等　：理事 17 名、監事 1 名、傍聴 1 名

以上

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	4,778	11,146	-6,368
預 金	120,847	2,552,972	-2,432,125
未収会費	216,000	22,000	194,000
未収金	-	-	-
その他流動資産			
預け金	2,000,000	2,000,000	-
流動資産合計	2,341,625	4,586,118	-2,244,493
2. 固定資産			
(1)基本財産等			
基本財産	-	-	-
投資有価証券	-	-	-
基本財産等合計	-	-	-
(2)特定資産			
支援金資産	-	7,000,000	-7,000,000
特定資産合計	-	7,000,000	-7,000,000
(3)その他固定資産			
什器備品	32	39	-7
図書	59,071	59,071	-
保証金	288,000	288,000	-
その他の固定資産合計	347,103	347,110	-7
固定資産合計	347,103	7,347,110	-7,000,007
資産合計	2,688,728	11,933,228	-9,244,500
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	4,227	-	4,227
未払費用	42,000	42,000	-
流動負債合計	46,227	42,000	4,227
2. 固定負債			
退職給付引当金	47,000	-	47,000
固定負債合計	47,000	-	47,000
負債合計	93,227	42,000	51,227
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	-	7,000,000	-7,000,000
指定正味財産合計	-	7,000,000	-7,000,000
2. 一般正味財産			
正味財産合計	2,595,501	4,891,228	-2,295,727
負債及び正味財産合計	2,595,501	11,891,228	-9,295,727
負債及び正味財産合計	2,688,728	11,933,228	-9,244,500

正味財産増減計算書内訳表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
受取入会金	3,500	1,500	5,000
受取法人会員入会金	0	0	0
受取個人会員入会金	2,800	1,200	4,000
受取会費	4,046,700	1,734,300	5,781,000
受取法人会費	3,640,000	1,560,000	5,200,000
受取個人会費	406,700	174,300	581,000
事業収益	170,500	0	170,500
シンポジウム等事業収益	170,500	0	170,500
渡航手続代行手数料	0	0	0
受取支援金	0	0	0
指定正味財産より振替額	0	0	0
雑収益	2,234	0	2,234
受取利息収益	34	0	34
雑収益	2,200	0	2,200
経常収益計	4,222,934	1,735,800	5,958,734
(2) 経常費用			
事業費	4,663,814		4,663,814
役員報酬	1,570,800		1,570,800
給料手当	958,620		958,620
退職給付費用	431,340		431,340
福利厚生費	5,375		5,375
旅費交通費	261,439		261,439
通信運搬費	182,780		182,780
消耗品費	30,302		30,302
印刷製本費	161,882		161,882
賃借料	752,640		752,640
光熱水料費	72,765		72,765
行事費	139,558		139,558
諸謝金	5,568		5,568
租税公課	1,482		1,482
図書費	0		0
雑費	89,263		89,263
退職金	0		0
管理費		1,360,427	1,360,427
役員報酬		469,200	469,200
給料手当		270,380	270,380
退職給付費用		121,660	121,660
福利厚生費		1,344	1,344
会議費		35,540	35,540
旅費交通費		153,543	153,543
通信運搬費		18,298	18,298
減価償却費		7	7
消耗品費		7,575	7,575
印刷製本費		34,339	34,339
賃借料		188,160	188,160
光熱水料費		18,648	18,648
諸謝金		0	0
租税公課		418	418
保険料		5,560	5,560
図書費		0	0
雑費		35,755	35,755
退職金		0	0
経常費用計	4,663,814	1,360,427	6,024,241
当期経常増減額	-440,880	375,373	-65,507
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失(寄付金残金返金)	0	-2,230,220	-2,230,220
経常外費用計	0	-2,230,220	-2,230,220
当期経常外増減額	0	-2,230,220	-2,230,220
当期一般正味財産増減額	-440,880	-1,854,847	-2,295,727
一般正味財産期首残高	704,319	4,186,909	4,891,228
一般正味財産期末残高	263,439	2,332,062	2,595,501
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0

公益財団法人 日本・パキスタン協会 役員、評議員名簿

(令和1年6月26日現在)

役員

社名 50 音順

職 名	氏 名	現 職 名
会 長	今泉 濬	(公財) 日本・パキスタン協会 会長
副 会 長	渋谷 實	元パキスタン大使
副 会 長	小島誠二	元パキスタン大使
専務理事	岩田 弘	(公財) 日本・パキスタン協会 専務理事
理 事	猿丸雅之	YKK株式会社 代表取締役会長
理 事	西澤善弘	伊藤忠商事株式会社 機械カンパニー 自動車・建機・産機部門長補佐
理 事	谷本雅一	伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社 取締役兼常務執行役員
理 事	宮内義彦	オリックス株式会社 シニア・チェアマン
理 事	齊藤欽司	スズキ株式会社 常務役員 海外四輪営業本部長
理 事	田村克己	大成建設株式会社 国際支店 統轄営業部長
理 事	簗原淳一	株式会社電通 グローバル・ビジネス・センター 次長
理 事	佐藤新一郎	飛島建設株式会社 常務執行役員 国際支店長
理 事	緒方健司	トヨタ自動車株式会社 事業業務部 業務室 TMAP グループ 主幹
理 事	水谷信也	株式会社豊田自動織機 繊維機械事業部 営業部 部長
理 事	平井鉄郎	豊田通商株式会社 技監
理 事	今村啓一	日本放送協会 国際放送局 局長
理 事	庄野 傑	株式会社博報堂 第5 ビジネスデザイン局 局長代理
理 事	ザヒールディン・ババール	パキスタン・ナショナル銀行 東京支店長兼在日代表
理 事	神谷 誠	株式会社マイティ エンジニアリング 代表取締役
理 事	山添 茂	丸紅株式会社 副会長
理 事	倉内宗夫	株式会社三菱UFJ銀行 顧問
理 事	鈴木康高	ヤマハ発動機株式会社 MC 事業本部 第2 事業部長
理 事	レーマン・ハスィーブ	株式会社ユニバーサルメタルコーポレーション 代表取締役会長
監 事	渡邊廣行	元株式会社小松製作所 常勤監査役

評議員

職 名	氏 名	現 職 名
評 議 員	平島成望	明治学院大学名誉教授
評 議 員	深町宏樹	元日本貿易振興機構アジア経済研究所 研究主幹
評 議 員	水嶋一雄	元日本大学文理学部教授 一般社団法人 黒部川扇状地研究所 所長
評 議 員	黒崎 卓	一橋大学 経済研究所 教授

新役員を選出

株式会社博報堂 庄野 傑 新理事



衛藤征士郎 日本パキスタン友好議員連盟会長に パキスタンの勲章が授与

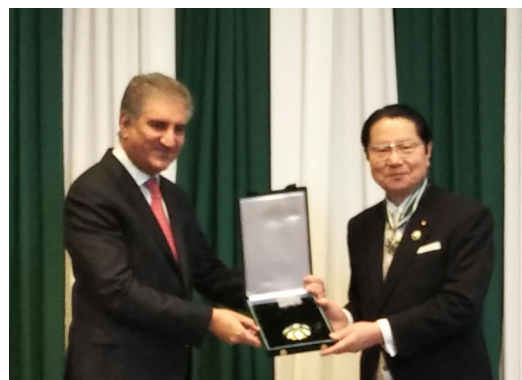
日本パキスタン友好議員連盟会長の衛藤征士郎衆議院議員にパキスタン政府より勲章、ヒラレパキスタンが授与されることが決まり、4月23日(火) 9:30 からパキスタン大使館で授与式が行われました。

当日はパキスタン政府を代表してシャー・マフムード・クレーシー外務大臣が出席され、勲章が授与されました。

当協会から、今泉会長、小島副会長、西澤理事、岩田専務理事が出席しました。



授与式終了後には、衆議院第一議員会館・国際会議室で日本パキスタン友好議員連盟によるクレーシー外務大臣歓迎総会が開催されました。この総会には、日本側は衛藤征士郎会長、玄葉光一郎幹事長、松島みどり事務局長他連盟議員が出席され、パキスタン側はパキスタン政府からイムティアズ・アハマド外務省アジア太平洋担当特別次官が、パキスタン大使館からザイディ臨時代理大使が出席されました。駐パキスタン日本大使館からは松田大使が出席されました。



パキスタン農業の新しい風 —契約農業とアグリビジネス—

黒崎 卓

『パークスターン』誌でもこれまでに取り上げられた女性ファッションによく表われているように、パキスタンでは、購買力のある消費者としてのミドルクラスが近年、着実に伸長し、大都市のモールやスーパーマーケットでの買い物が市民権を得つつある。食品を例にすると、バーザールや行商人などから、野菜や果物、肉・魚、穀物などをそのまま購入するというのが、伝統的な流通形態だった。そんなパキスタンでも、パッケージされた食材や加工食品の消費が急増している。この変化を引き起こしているのが、農業関連産業すなわちアグリビジネスである。

アグリビジネスが近代的な商品として食品を製造・販売するためには、それに見合った品質の食材が必要になる。民間企業が直接農地を借りて、作物生産や畜産に従事することもあるが、農地の質を見極めたり、適切に作物・家畜を管理する上では、長年、農業に携わってきた農民の方が有利なことも多い。そこで近年、世界中で盛んになっているのが、契約農業 (contract farming) である。アグリビジネス企業が、農民と契約を結び、農民は、企業が特定した品種の作物を、指定された方法で栽培し、規格に合致した生産物全量が企業によって購入される、というのが典型的な契約農業である。企業と農民の関係は、生産された農産物の売買だけにとどまらない。企業は、農民に対して、生産方法を指導したり、品質保証のある生産物資（種子、化学肥料、農薬など）を供与したり、生産費を賄うための金融補助（信用供与）も行うことが多い。

私は 1980 年代半ばに初めてパキスタンを訪れて、農村での農業生産現場も目にしたが、その頃、このような取引はほとんど見られなかった。パキスタン農業の新しい風として、契約農業とアグリビジネスについて、紹介する。以下は、私と、パキスタンからの留学生 Muhammad Fawad Khan 氏（東京大学大学院の博士後期課程にて農業経済学を専攻中）他との共同研究に基づいた報告である。

1. パキスタンのアグリビジネスと契約農業

パキスタンで野菜や果物、肉・魚、穀物などを買うと言えば、バーザールや行商人、あるいは専門の商店が頭に浮かぶことだろう。例えばマンゴーならば、次頁の写真のような露店商の果物屋さんで、どれがおいしいかなあとドキドキしながら選ぶのは、楽しいものだ。

とはいえ適正価格がいくらなのかよくわからないし、値段を交渉しないとだまされそう。そんな不安なく買い物できるのは、やはりスーパーマーケットである。次の写真は、Metro Cash and Carry 社の店舗の青果コーナー（撮影ラーホール市、2015 年）。値段が明記され、正確な秤で好きな量を購入できるから、お客にとっては、品質も価格も信頼つきだ（その分、実はかなり割高だが）。

同社は、2015 年当時、パキスタン最大のスーパーマーケット・チェーンとして知られ、主要都市にはその卸売センターが置かれ、多数の小売店が操業していた。扱われる青果のうち、国産のものはほとんどが契約農業で調達されていた。アグリビジネスとしての Metro Cash and Carry 社は、高品質の青果をスケジュール通りに調達して店舗に並べるために、パキスタン全土に広がって契約農業を組織していたということになる。

右に図示したのは、そんなスーパーマーケットの店頭に並ぶ定番、食品加工業の大手 National Foods 社のレッドチリパウダー（赤唐辛子粉）である。同社は、高品質チリパウダー生産に特に向いた品種の唐辛子を、スィンド州のクンリ郡に住む約 300 名の農民と契約して、調達している。アグリビジネスとしての National Food 社は、生産に必要な改良種子を供与した上で、同社の技術者が技術普及員として村を頻繁に訪れ、国際基準に合致した農作物ができるように入念な指導をしている。

パキスタンで契約農業に携わっているアグリビジネスとして、以下で取り上げるのは PepsiCo 社、Rafhan Maize Products 社、Pakistan Tobacco Company (PTC) 社の 3 つである。PepsiCo 社はいわずもがなの世界有数の多国籍企業。パキスタンでは、Lay's ブランドのポテトチップスを作るための専用のジャガイモを契約農業で調達している（PepsiCo 本社の主力商品はペプシコーラだが、Lay's の本社を子企業としているため、パキスタンでは PepsiCo 社が Lay's ブランドのチップスを製造・販売している：次頁左画像参照）。Rafhan Maize Products 社は、工業用でんぷんや食用コーン油（次頁右画像



露天商の果物屋（スィヤールコート市、2006 年）



Metro Cash and Carry 社の店舗（ラーホール市、2015 年）



参照)を製造しており、その原料となるトウモロコシを契約農業で調達している。工業用でんぷんにはなじみのない読者も多いだろうが、化粧品や医薬品、アイスクリームなどの材料になり、縫製品用繊維製品(布など)の調整にも使われる。PTC社は、パキスタン最大のタバコ製造企業で、原料のタバコ葉を主に契約農業で調達している。



左：PepsiCo 社の Lay's ブランドの
ポテトチップス

右：Rafhan Maize Products 社の
コーン油

このように契約農業には、アグリビジネスにとっては、必要な品質の農産物を確実に調達できること、農地を借りたり農業労働者を雇わなくて済むので農産物の加工・流通に専念できることといった利点がある。農民の側は、農産物の販路を確保し、高品質の農産物を生産するための先進技術や農業資材・金融サービスを手に入れ、農業所得を引き上げて安定させられるという便益を期待できる。もちろん問題がないわけではない。零細規模の農民や教育水準の低い農民が排除されて、農民間の不平等が拡大するとか、アグリビジネスが一方的に便益を得て農民は搾取されてしまうとか、契約履行をめぐるトラブル（農民は企業側が約束通りに購入してくれないとクレームをつけ、企業は農民側が低い品質を隠して納品したり、高品質なものを横流ししてしまうとクレームを付けるなど）が起きているといったニュースを耳にする（契約農業をめぐる経済学的分析の既存研究については、末尾の参考文献 Khan et al. 2019a の第 1 節を参照されたい）。

2. パンジャブ州のジャガイモとトウモロコシ

2016 年 9 ～ 10 月と、2018 年 9 月の 2 回、パンジャブ州のオカーラー県 (Okara District) のディパールプル郡 (Depalpur Tehsil) にて、PepsoCo 社のジャガイモ契約農業、Rafhan Maize Products 社のトウモロコシ契約農業に関する調査を行った。ディパールプル郡ではこの 2 社による契約農業が盛んで、同じ村の中でそれぞれの契約が見られることが、ここを調査地を選んだ理由である。

2016 年の調査では、両社それぞれの契約農民のリストから無作為に選びだした農民 104 名 (83 名がトウモロコシ、16 名がジャガイモ、5 名が両方の契約) を対象に、農業経営の詳細、企業との契約内容などについて情報を集めた。次頁の左の写真が、Rafhan Maize Products 社との契約で栽培されている高品質のトウモロコシの畑、右の写真が契約農民への聞き取り風景である (2016 年撮影)。実際のトウモロコシの穂を見て、品質

などを確認しながらのインタビューとなった。



Rafhan Maize Products 社との契約で
栽培されているトウモロコシの畑



契約農民への聞き取り風景（2016 年）

調査の目的は、どのような農民が契約に参加するのか、参加することによって農業の生産性や所得はどう変化するのか、契約のトラブルが生じたらどう対応するのかなどについて、正確な数字を推計して明らかにすることだった。そのためには、参加できるが参加していない農民との比較が欠かせない。企業側にどのような農家なら契約できるのか詳しく聞いたうえで、経営規模が同質だが契約に参加していない農民を比較対象として選出し、96 名を調査した。

これら合計 200 名の調査農家は、私がこれまでパキスタンで調査した農家とは異なり、非常に大規模な経営を行う豊かな農民ばかりだった。平均の土地所有面積は 20 から 50 ヘクタールで、加えて同じくらいの面積の農地をさらに借り入れていた。パンジャブ州での農家の経営面積平均は 2.9 ヘクタール程度だから、その数十倍となる。数台のトラクターなど農業機械を多数所有し、農場をいくつかに分けてそれぞれについて管理人を雇い、その管理人が実際の農作業を行う労働者を監督する。契約を結んでいる農民は、このピラミッドの頂点に位置する農業経営者なのである。農業所得は年間 500 万円を超え、先進国の農民と大差ない水準だった。

厳密な統計分析をこのデータに施した結果、このような大規模農家は、PepsoCo 社とのジャガイモ栽培契約を結ぶことにより農業所得をほぼ倍増させていること、その恩恵は雇われる労働者の数を増やすことを通じて貧困層にも多少は便益をもたらしていること、他方、Rafhan Maize Products 社とのトウモロコシ栽培契約にはそういった効果が見られないことが判明した（分析結果の詳細については、Khan et al. (2019a) を参照されたい）。ジャガイモの場合、Lay's チップス専用の品種が通常の市場では取り扱われておらず、特殊な農産物を指定された生産方法で生産したことの価格プレミアムがこのような変化をもたらしていた。トウモロコシの場合、高品質のトウモロコシと言ってもその品種は通常の市場でも売買されており、生産方法にも大きな違いがないことが、生産性効果・所得効果を生まなかった理由だった。ではなぜ所得が増えないにもかかわらず、農民はトウモロコシの契約を結ぶかという、一般の商人に販売した場合に売上代金をいつ回収できるの

か不確実なのに対し、Rafhan Maize Products 社は契約通りに期日を守って売上代金を農民に支払っており、そのことが農民から高く評価されているためだった。

この研究を通じて、企業と農民がどのように接触して契約に至るのかの長期的経緯や、労働者と農業経営者との関係について、さらに調査する必要を感じた。そこで2018年の調査では、同じ200名の農民の追跡調査を試みた。2年の間に転業した農民もいたため、詳しい再調査に成功したのは103名であった。そこで分析のためのサンプル数を確保すべく新たに151名の農民を調査した。この分析結果についてはまた追って報告したい。

3. KP州のタバコ

パンジャーブ州のジャガイモ契約農業が農業の生産性と所得を高めると言っても、その便益の大部分がパキスタン農村の特権階級ともいえるべき大土地所有者の懐に入ってしまうというのは、個人的にあまりうれしくない結果だった。そこで、もっと普通の農民が参加できる契約農業の事例として、PTC社のタバコ契約農業に関する調査を行った。

調査は、2018年9月に、ハイバルパフトウンハー (Khyber-Pakhtunkhwa: KP) 州のスワービー県 (Swabi District) を中心に、隣接するブネル県 (Buner District) も若干含む地域において実施した。スワービー県は、パキスタン全体のタバコ生産の55%をも担う大産地である。PTC社のタバコ契約農民のリストから無作為に選びだした123名と、彼らと同じ村に住んでいてタバコを栽培しているがPTC社と契約していない農民から無作為に選出した163名について、質問票を用いて詳細な情報を収集した。非契約農民163名のうち、67名の農民は、たまたまその年だけPTC社にタバコを販売したため、PTC社との契約の効果を正確に把握するためには、契約農民123名と、非契約でかつPTCに納入しなかった農民96名を比較した方がよいと思われる。以下、その比較結果を簡単に紹介する（分析結果の詳細については、Khan et al. (2019b) を参照されたい）。

2種類のタバコ生産農家は、どちらも、私が以前にパキスタンで調査した農家と似通った零細規模の農民だった。平均の土地所有面積はわずか1.2ヘクタールで、若干の借入地を加えて、主作物としてタバコを生産していた。世帯所得は年間50万円程度、パキスタン農民の平均像に近い。

タバコ生産農民の中で、どのような農民がPTC社との契約に参加する傾向が強いかを統計分析したところ、土地所有面積は無関係で、年齢や教育水準が高く、世帯員数が多い場合に契約する確率が上がることがわかった。同じ村の中に契約に参加している農民が多いと、契約に参加する確率も上がるという、農民間のネットワークの効果も見出された。また、契約に参加することにより、タバコの販路が確保され、期日通りに売り上げを手にすることができることが、生活資金やタバコ以外の農業生産資金を借る場合にもプラスに作用することが判明した。農業生産は天候次第で揺れ動くから、どうやってお金をやりくりして不慮の事態を乗り切るかは、パキスタンの零細農家にとって死活問題である (Kurosaki, 2006)。契約農業には、零細農家のファイナンスを改善する効果もあるのだ。

4. 結び

パキスタンの都市部での消費が急増しているパッケージされた食材や加工食品の背後には、それを製造・販売するアグリビジネスと、そこに高品質の農産物を供給する新しいタイプの農民が存在する。農民はアグリビジネスと契約を結ぶことで、技術水準が向上し、所得にも好影響が出ている。その影響は、パンジャブ州では大規模農家に偏重しているが、KP 州のタバコのように、零細農家にも便益が行っているケースがある。都市のミドルクラスのさらなる伸長と、グローバル化の進展は、このような契約農業の拡大をさらに後押しすることだろう。パキスタン農業の生産性を向上させる上で、民間セクターの役割は無視できない。より貧困層に資するような契約農業が実現するためには、補完的な政策が必要になるかもしれない。今後の研究課題である。

(くろさき たかし・一橋大学経済研究所)

引用文献

- Khan, Muhammad Fawad, Yuko Nakano, and Takashi Kurosaki (2019a), “Impact of Contract Farming on Land Productivity and Income of Maize and Potato Growers in Pakistan”, *Food Policy*, Vol. 85, pp.28-39.
- Khan, Muhammad Fawad, Takashi Kurosaki, and Takeshi Sakurai (2019b), “Contract Farming, Access to Credit, and Loan Repayment Ability of Small Farmers in Pakistan”, paper presented at the annual meeting, the Agricultural Economics Society of Japan, April 1, 2019, University of Tokyo.
- Kurosaki, Takashi (2006), “Consumption Vulnerability to Risk in Rural Pakistan”, *Journal of Development Studies*, Vol.42, pp.70-89.

パキスタン財閥の出自的背景について

川 満 直 樹

1. はじめに
2. パキスタン財閥とビジネス・コミュニティ
3. パキスタン財閥の出自的背景
4. 結びにかえて

1. はじめに

パキスタンは、1947年に英領インドから分離独立し誕生した。分離独立以前のインド亜大陸における現パキスタン地域（東西）はこれと言った産業がなかった。パキスタンは、インドと比べて人的・物的・経済的にも悪条件のもとでの出発を余儀なくされた。

このような中、分離独立当初からパキスタンの経済を支えてきたのが、インドあるいはそれ以外の地からパキスタンに移住してきたムスリムの商人たちであった。彼らの活躍なしに、現在のパキスタン経済の発展はなかったであろう。彼らムスリム商人から、その後パキスタンを代表するいくつかの財閥が誕生した。

本稿では、パキスタンの経済発展に貢献してきた財閥に焦点をあて、彼らの出自的背景を中心に述べたいと思う。

2. パキスタン財閥とビジネス・コミュニティ

分離独立当初のパキスタンで活躍したムスリム商人の特徴は二点ある。一つは、彼らがその昔、ヒンドゥーからイスラームへ改宗した者たちであり、インド以外の地域との商業活動に従事していた者たちの後裔が多く、パキスタンの分離独立を機にパキスタンへ移住してきた者たちであったこと。二つ目は、彼らが特定のコミュニティに属していたことである。特に、有力なビジネス・コミュニティはメーモン、ホージャ、ボホラなどである。

表1は、1950年代後半のパキスタンにおけるコミュニティ別に見た人口の割合を示したものである。表1から主要なビジネス・コミュニティ（メーモン、ホージャ、ボホラなど）に属する者たちは、パキスタン総人口の1%に満たず、パキスタンの経済発展は限られた者たちによってけん引されたことがわかる。

表1 コミュニティ別のムスリム企業家 (1959 年) (単位：%)

コミュニティ	ムスリム系企業	全企業	対人口比
主要ムスリム企業家	100	67	88
➤ ハーラーイ・メーモン	26.5	18	0.16
➤ チニョーティーズ	9	6	0.03
➤ ダーウーディ・ボホラ	5	3.5	0.02
➤ ホージャ・イスナシャリー	5.5	4	0.02
➤ ホージャ・イスマーイール	5	3.5	0.06
➤ その他のムスリム商業コミュニティ	5.5	4	0.08
➤ サイイド、シャイフ	18	12	
➤ パターン	8	5.5	7
➤ ベンガーリー ムスリム	3.5	2.5	43
➤ その他のムスリム	14	8.5	37.5
ヒンドゥー系・パールスィー系・外資系企業		21.5	12.5
➤ ベンガーリー・ヒンドゥー		8.5	10
➤ マールワーリー		2	
➤ 他のヒンドゥー、シェイク		1.5	2.5
➤ パールスィー		1	0.01
➤ イギリス		7.5	
➤ アメリカ人、その他外国人		1	
政府系企業		12	
➤ パキスタン産業開発公社 (PIDC)		7	
➤ 政府		5	

(注) 数値は足しても 100%にならないものもある (出典どおり)。

(出典) Papanek, G. F., *Pakistan's Development: Social Goals and Private Incentives*, Harvard Univ. Press, 1967, p.42.

印パ分離独立当初から活動してきたメーモン、ホージャやボホラなどのビジネス・コミュニティは、どのような出自的背景を持っていたのだろうか。それらについての詳細は、いくつかの研究書 (論文) を参考にさせていただき、以下では代表的なビジネス・コミュニティの概要を述べたいと思う。

最初に、メーモン・コミュニティについてである。メーモンはスンニー派に属し、12 世頃にヒンドゥーのロハーナーとカッチアーというジャーティ (職業集団) から改宗したコミュニティと言われている。ロハーナーという名称は、パンジャブのローハンプル、ローホーカトの地名に由来すると言われ、もともと商業を生業としてきたコミュニティであり、またカッチアーは園芸や野菜、果実などを販売する職業を生業とするコミュニティである。当初、モーミン (信者の意) と呼ばれていたが、それが訛り現在のメーモンになったと言われている。

次に、ホージャ・コミュニティである。同コミュニティは、シーア派に属し、メーモンと同じくヒンドゥーのロハーナーに属していた者たちが 14 世紀ごろにイスマーイール派

の宣教使節の影響によって改宗したコミュニティだと言われている。ヒンドゥーの相続法やシャクティ崇拜を認めている点は、他のムスリム・コミュニティと異なる点である。また、彼らはアーガー・ハーンを仰いでいる集団である。

最後は、ボハラ・コミュニティである。ボハラは、ホージャと同じくシーア派に属する。同コミュニティは、11 世頃にシーア派の宣教師によってヒンドゥーから改宗した者たちであると言われている。ボハラという名称は、彼らの多くが就いていた仕事（商業）を反映したグジャラート語の *vohrvun* (to trade) に由来すると言われているが、それ以外にも諸説存在する。

3. パキスタン財閥の出自的背景

メーモン、ホージャ、ボハラなどのビジネス・コミュニティは、どのような特徴を持っていたのだろうか。ピアスンは、それらコミュニティについて以下のように述べている⁽¹⁾（ホージャ、ボーラ、イスラムともに原文のまま）。

- ・ ホージャ、ボーラの双方とも、相続やさらには宗教上の問題についてさえもヒンドゥー教の特質を多く残していた。
- ・ ホージャとボーラのイスラムへの改宗はこのようにとても完全といえたものではなかったが、それでもかれらの宗派の商業活動を大いに助けた。
- ・ ホージャやボーラはヒンドゥー教の相続慣行を保持することによって、死亡に際して死者の財産があまりにも細分されることを避けたのである。
- ・ ホージャとボーラが高利貸を禁止したイスラムの掟（利子をとることは『クルアーン』において禁止されている）によって仕事を妨げられることがなかったことは明らかだといってもよい。

また、山中一郎とコチャネックは、ビジネス・コミュニティに属していたムスリム商人について以下のように述べている⁽²⁾（原文のまま）。

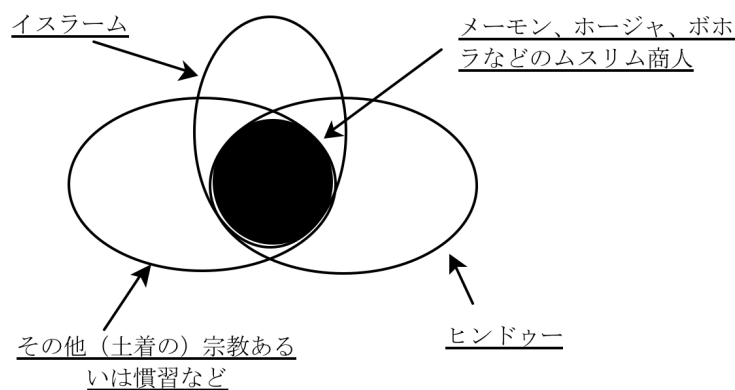
- ・ 彼らは出自的にはグジャラーティーであり、新国家パキスタンに移住後も、グジャラーティー語を話すムハージル（難民）の商人一族としての共通のアイデンティティーをもっていた。（山中）
- ・ その出自にかかわる地縁、血縁関係の重視、といった求心的な力がきわめて強く作用している。それらは、イスラームという紐帯で結ばれ包括されているが、個々人や利益集団の行動様式には、ムスリムとしての連帯感はなく、それぞれの帰属するコミュニティの利益が優先され重視されている。（山中）
- ・ こうした宗派別のコミュニティは、かならずしも強固な信仰の上に築かれた特定の宗教的グループと言うよりも、実態としては、インドの商人カーストに類似した世襲的な性格を持った社会的グループであると言えよう。（山中）

- ・ 一族による支配は雇用慣行にも特徴があり、共通の言語、価値観や伝統を共有する者を採用する傾向にあった。(コチャネック)

以上の内容から、メーモンなどのビジネス・コミュニティは、ヒンドゥー的な側面、イスラーム的な側面の両面を持ち合わせていた者たちだったと言えるであろう。

このような状況にあったビジネス・コミュニティについて、瀬岡誠の企業者史学⁽³⁾の理論を使い説明したい。瀬岡は、革新的な企業者あるいは創造的革新者がどのようにして登場するのかを、学際的な観点からマージナル・マン、マージナル・シチュエーション、また準抛人や準抛集団などの概念を用い説明している。ここでの議論に重要な概念はマージナル・マンである。マージナル・マンとは、文化的・人種的・言語的、ないしは社会構造的立脚点から見てあいまいな位置にいる人間のことである。メーモン、ホージャそしてボホラは、上記の意味でマージナル・マンと言えるであろう。なぜならヒンドゥーが多数を占めるインドにあって、ムスリムでありながらヒンドゥー的な価値（特質）を残し、またムスリムであるがゆえにヒンドゥーの枠組みから外れた集団だからである。

図1 メーモン、ホージャ、ボホラなどについて



そのような彼らの存在を図に示そうと試みたのが図1である。図に示したそれぞれの円（マル）は、それぞれの宗教を示す。円（マル）が重なり合っている場所（黒く塗りつぶした箇所）がメーモンやホージャなどのコミュニティの位置（マージナル・シチュエーション）を示し、図からわかるように彼ら（メーモンやホージャなど）は、それぞれの宗教から影響を受けるような形になっている。このように彼らは、イスラームの血とヒンドゥーの血が流れる「宗教的混血」であった。メーモンやホージャなどのコミュニティは、マージナルなシチュエーションにおかれ緊張や葛藤などをおとして、置かれた状況への適応性や客観性などを高めつつ行動する者たちであったと言えるであろう。

4. 結びにかえて

表1で見たように、パキスタンの経済発展はいくつかのムスリムのビジネス・コミュニ

ティが担っていた。それらビジネス・コミュニティの出自的背景ならびに特徴は、上記した通りである。

それらのビジネス・コミュニティに属していたアーダムジーやハビーブなどの一族が、パキスタンの初期経済に必要となる会社をいくつか設立した。例えば、アーダムジーは、メーモンに属している。同一族は、分離独立以前のインド（主にカルカッタを中心）において活躍した数少ないムスリムの企業家である。アーダムジーは、いくつかの一族とともに分離独立前後にムスリム・コマーシャル・バンクやオリエント・エアウェイズなどを設立している。また、ハビーブはホージャに属し、ハビーブ銀行を分離独立の機運が高まる1941年にボンベイに設立させた一族である。ハビーブ銀行は、インド亜大陸初のムスリム系の銀行であり、1947年に本店をボンベイからカラチへ移しパキスタンの初期経済を支えてきた。

彼らのような出自的背景をもった一族が印パ分離当初のパキスタンで、M.A. ジンナーやパキスタン国民の期待に応え、同国経済の礎となる企業を設立した。そのような企業がパキスタンの初期経済を支えたことは間違いのないことである。

（付記）本稿は、川満直樹「分離独立当初のパキスタン経済を担ったムスリム商人たち」『同志社商学』第67巻第4号（同志社大学商学会、2016年）および同『パキスタン財閥のファミリービジネス』（ミネルヴァ書房、2017年）から抜粋し加筆修正したものである。また、参考文献については、上記の拙論および拙著を参照してください。

（かわみつ なおき・同志社大学 准教授、当協会会員）

【注】

- （1） M.N. ピアスン著、生田滋訳『ポルトガルとインド』（岩波現代選書、1984年）。
- （2） 山中一郎「産業資本家層—歴代政権との対応を中心として—」山中一郎編著『パキスタンにおける政治と権力—統治エリートについての考察—』（アジア経済研究所、1992年）、同「パキスタンにおけるビジネスグループ—その生成と発展に関する一考察—」小池賢治、星野妙子編著『発展途上国のビジネスグループ』（アジア経済研究所、1993年）。Stanley A. Kochanek, *Interest Groups and Development: Business and Politics in Pakistan*, Oxford Univ. Press, 1983.
- （3） 瀬岡誠『企業者史学序説』（実業出版株式会社、1980年）。

カウワーリーがやって来る！

村山和之

はじめに

メッセンジャーのボイスメッセージを開くと、バハードゥル・アリーの聞きなれた声が流れてきた。「7日にこちらを出て8日にそちらに着きます。戻るのは22日です。スリランカの飛行機で行きます。」

ヴィザが6人分無事でたことは既に聞いていた。その中で来日メンバーが一人変更になったことも致し方ないことだが、大事ではなかった。問題は航空券を買っても予約が完了したか否かであった。

思わず拳を握りしめ、小躍りしようとして思いとどまる。再確認をしておかなくてはならない。こちらからもう一度電話してリコンファームが完了した。来日旅程はパッカー(完璧・満了)となった。あとは、飛行機が無事飛んで、時間までに日本に到着してくれることを神に祈るのみだけとなった。インシャッラー、何事もなく元気で来日してくれますように！

カウワーリー楽団の来日と舞台前

6年ぶりにパキстанはラホールから、カウワーリー qawwali と呼ばれるイスラーム宗教音楽を専門に伝承してきた音楽家カーストの楽師カウワール qawwal が8月8日に来日する次第となった。

バダル・アリー Badar Ali (主唱)、バハードゥル・アリー Bahadur Ali (副唱、ハールモニウム演奏者) (図A)、ワッカース・アリー Waqas Ali (タブラー太鼓奏者)、ムハンマド・シャーヒド Muhammad Shahid (コーラス、手拍子)、シャフカット・アリー Shafqat Ali (コーラス、手拍子) そしてモホシン・アリー Mohsin Ali (コーラス、手拍子) からなる6人のカウワールで構成された、カウワーリー楽団がやってくる。みな兄弟・従兄弟・甥っ子の家内制無形職業音楽者である。(図B)



(図A) 左がバダル・アリー、右がバハードゥル・アリー

(画：福光 文)



(図 B) 最終来日予定楽団員集合写真

イスラーム世界で歌舞音楽が表立って奨励されないことは周知のことだが、イスラーム共和国パキスタンでは、音楽文化が深く根付き、宗教勢力とつばぜり合いを演じながらも、広く大衆の支持を受けている。

殊にカウワーリーというジャンルは、イスラーム神秘主義（スーフィズム）修道儀礼歌謡に端を発し、宗

派を問わずに受容され 600 年以上の時を経て発展してきたイスラーム大衆歌謡の代表なのである。

このバダル・アリー&バハードウル・アリー兄弟楽団は、先祖代々ラホールの大聖者ダーター・ガンジ・バフシュの聖廟（ダルガー）でカウワーリーを営んできたカウワールの家系に属し、日本へは 2012 年と 2013 年に、パキスタン大使館主催の「パキスタン・バザール」のために来日している。

当時、パキスタン大使館側の担当者 G 公使が、専門外でこの手の芸能には明るくないと謙虚に認め、ミーティングの席で「カウワーリーを呼んだら、本当に日本の聴衆が喜んで、悪いイメージが先行するパキスタンの名誉を回復できると思うのですか？」と問いただしてきたことを思い出す。

間髪入れずに「できます！生身の凄いカウワーリーを聴いたら仰天するのは日本人だけじゃありませんよ」と返し、「たまたま私の知り合いで大変良いカウワールがいます。日本語の歌（幸せなら手を叩こう）もカウワーリー風に歌っていますし、パキスタンと日本を歌の架け橋で繋げるのにはうってつけです」と PC を開いて自分が撮ってきた彼らの動画をみてもらったことが思い出される。

果たして彼らが選ばれて来日し、パキスタンではカウワーリーに接してこなかった G 公使御自らが、日本の東京でカウワーリーを聴いて彼らの大ファンになってしまった。J 大使もファンになって、日本離任後には彼らを赴任国へ呼んで、パキスタン音楽文化として紹介して下さった。

代々木公園と上野公園のステージでは、両年とも、日を重ねるたびに観客が増えてゆき、思わず踊りだす者、うっとり聴き沈む者、自分のダンスの伴奏だと思い込んで踊りまくる者、御捻りの 1 ドル札をカウワールに対してまき散らす者などが散見された。聴衆は、日本人も、パキスタン人も、その他の外国人も、本物のカウワールたちが創り出す独特の世俗的スーフィズム祝祭空間に圧倒され、高揚していた。

ファルマーイシュ farmaish といって、現地さながら、リクエストしたい歌の名前を小

さな紙に書いてカウワールに差し出す在日パキスタン人もいた。決められた曲順で進行しなければならない中、無理やりその歌を埋め込んで同胞の要求に応えるカウワール。歓喜の表情で御捻りをはずみ舞わせる件の在日パキスタン人。舞台が終わった後、プログラム全体の流れをあのファルマーイシュの一曲で台無しにしたと激怒する私に対して「手を合わされてファルマーイシュをされたら、私たちは応えないわけにはいかないんです」と弁解する彼らの芸人魂とその強かさに感動したものだ。

一方で、パキスタン現地であまりカウワリーを体験したことがない在日パキスタン人の若者の中には、喜びのあまり音楽に合わせて得意の映画風ダンスを踊りだしたり、両替の順番を待たずに割り込んでごねたりする馬鹿者も多々見られた。知らないのだ、彼らは。カウワリーの曲に応じた聴き方を、お捻りの正しく美しいあげ方を。知らなかった人は責められない、叱って教育してやったものだ。同様にノリがよければどの曲でも踊りだす日本人観衆もカウワリー文化に敬意を払うよう教えてやらねばならないだろう。

ここで述べたように、カウワリーが舞台で始めると、世界全国津々浦々の様々な面白い反応が表出して、まるで魔術をかけられたように音楽に支配されてしまうのが素敵なのだ。みなこころ気持ちよくなって、一緒に誰かと気持ちよくなりたくなくて、神の名の下で、体を揺らしてしまう。ダンス披露自慢は例外としても、音楽が入り込んだ分だけ、個人個人が自分の世界の中で何かが昇華してゆくのを、それが自分の中の愛であることを自然に揺れ動く体に認めざるを得なくなってしまう。

そんなラブ、いやライブが、カウワールが音を出した瞬間に始まるのだ。体験してみたくはないだろうか、いや誰でも体験してみたくなるはずでは？

カウワリー鑑賞の予備知識（歴史・歌詞など）

カウワリー歌曲の中で、最も古く由緒正しいものは、14世紀のデリーで諸王朝に仕えた宰相であり芸術家でありスーフィー（神秘主義修道者）であったアミール・フスロー Amir Khusrow (1253-1325) の手になるものとされている。ペルシア語と古ヒンディー語で、彼自ら育てたカウワールたちが歌い継いできた作品は、600年以上たった今もお健在である。

北インドのイスラーム世界の中で台頭してきたウルドゥー語が、カウワリーの実質的第一言語となる中でも、彼の作品はカウワリーの根本原曲として不動の位置を占めているのだ。

原カウワリーともいえるスーフィー修道音楽は、フスロー以前から存在していたであろうが、それをより宗教的に充実させ、先進的なイスラーム文化と融合させ、よりインド世界の音楽パフォーマンスとして洗練させたのが彼の功績であろう。「カウワリーの父」と呼ばれる由縁がそこにある。

フスローが傾倒し愛したスーフィズムは、チシュティー教団 Chishtiya と言われる一派で、アフガニスタン西部のチシュト出身者が興した神秘主義教団である。インド世界では、13世紀初旬にムーヌッディーン Muinuddin が、現在の北インド〜パキスタンに定着

させた教団で、カウワーリーを神に近づく修道音楽として受け入れてきた教団でもある。

13～14世紀にデリーに修道場をもって活動した、ムーヌッディーンから数えて四代目にあたる教主ニザームッディーン Nizamuddin に帰依してスーフイーとなった彼は、師ニザームッディーンに献身して、師を讃える詩をカウワーリーの形で作ってゆく。

カウワーリーの目的は、詩・節・拍子が一体となった集団歌謡で、宗教的集会に参加している人々にトランスを誘発し、神との合一体験を与えた上で正気に戻すことである。この修道音楽会を、メヘフィレ・サマー Mehfil-e-Sama'、直訳すれば「サマーの集会」とよぶ。

サマーとは、音を聴きとることから音楽的集会までを包括する概念である。11世紀には、導師の先導の下に信者たちが歌を聴きながら瞑想から忘我状態へと入り込み、再び平静状態に回帰する一連の修道儀礼が始まっていた。その際に行なわれた独特な歌と器楽演奏を担う専門楽師がカウワール共通の祖先となる。

宗教音楽から民謡、映画挿入歌から舞踏音楽まで、北インド古典音楽の基礎を踏まえてあらゆるジャンルに対応しながらも、総てカウワーリー風味の音楽にしてしまうカウワールたちの起源は、サマーを音楽面で支えてきた、スーフイーの修道儀礼の場にあったのだ。

宗教的なメヘフィレ・サマーの場合、聖典『ハディース』所収の預言者ムハンマドの言葉（アラビア語）が主軸となるアミール・フスロー作の歌「カウル：マヌ・クント・マウラー」から始まり、神（アッラー）への讃歌を内容とした「ハムド」、預言者ムハンマドへの讃歌「ナート」、そしてムハンマドの従兄弟で娘婿にして正統カリフ、シーア派では初代イマーム、そしてスーフイズムの象徴として崇められるアリーや聖者たちに捧げられる讃歌「マンカバト」の順で進んでゆく。

最後に再びアミール・フスロー作の「アージ・ラング・ヘイ」を聴衆全員起立の下に聴き、最後の最後にはアカペラで歌われる同じくフスロー作のペルシア語の歌「サラーム」を静粛に聴いて終幕となる。

ハムドもナートもマンカバトも、個別の曲名ではなく、アッラー・ムハンマド・アリー&聖者に対する無数の讃歌の分類名である。参考に歌詞の一例を示してみたい。ウルドゥー語訳の全ては、もちろん元東京外国語大学ウルドゥー語助教授：麻田豊氏のものである。

ハムド『おお永遠に不滅なる神よ！』

汝はまさに唯一無比なるお方

汝は正常にして完全無欠なるお方

汝は存在の源にして

信徒の敵を嘲笑するお方

汝の実体に栄光あれ

汝は困難を解決されるお方

いたるところ、汝を称える声

おお永遠に不滅なる神よ！（ヤー・ハイユー・ヤー・カイユーム）

（『アジアの神・舞・歌』国際交流基金、1987年）

ナート『粗衣をまとった預言者ムハンマド』

粗衣をまとった預言者ムハンマドは（カムリーワーラー・ムハンマド）

ウンマ（イスラーム共同体）を繁栄させたお方

迫害を受けつつ祝福を与え続けた我が主に

我は全身全霊を捧げてお仕えする

汝はつまずきながら一步一步歩む

我が恋人の恩恵あふれる威光をみるがいい

我は罪に罪を重ねてきた者

あの方は恩寵に恩寵を与えてきたお方

（ヌスラット・ファテ・アリー・ハーン SUPREME COLLECTION 1991 年）

マンカバト『アリーこそ真実』

人々の王アリーよ、比類なき勇者アリーよ

神の獅子アリーよ

アリーこそ真実、我が主アリーよ（ハック・アリー・アリー）

アリーへの愛なくして、望みは叶えられず

礼拝の報賞もまた決して得られず

神のしもべよ、よいか、とくと聞くがいい

アリーを得られぬ者は神をも得られず

アリーこそ真実、我が主アリーよ

（究極のパリ・コンサート Vo.3,4&5 ~ヌスラット・ファテ・アリー・ハーン~ 1994 年）

ラング『今日は「色」がある』

素焼きの灯明皿よ、私の言うことを聞いてほしい

私の導師の家には「色」がある

なので、一晩中起きていてほしい

今日は「色」がある、母さん、「色」がある（アージ・ラング・ハイ）

あの人の家の中庭には「色」がある

今日、私の「色」は我が導師と同じ「色」

私は我が導師、聖者ニザームッディーンを見出した

私は我が導師、聖者アラーウッディーンを見出した

私は我が導師、聖者ファリードウッディーンを見出した

私は我が導師、聖者クトゥブッディーンを見出した

私は我が導師、聖者ムーヌッディーンを見出した（*「色」は喜び、満悦を表す）
（イスラーム神秘主義の音楽、カッワーリーの真髄～メヘル・アリー&シェール・アリー
2005 年）

加えてパキスタンのパンジャービー語のカウワーリーでは、パンジャープ地方 17 ～ 18 世紀のスーフィー詩人ブッレー・シャー Bulleh Shah の、カーフィー Kafi という形式の押韻短詩を用いてメッセージが寄せられることも多い。

これは南アジア版『ロメオとジュリエット』に相当する大変有名なパンジャープ地方の悲恋民話、『ヒールとラーンジャー』のヒロイン：ヒールの口を借りて、愛する恋人ラーンジャーへの愛を求めるもので、隠喩表現をとって神への愛を歌っている。この歌詞だけ拙訳でお目汚しさせていただいた。

カーフィー 『私の恋人が家に来た』

みんな、おいでよ、お祝いしてよ

私はラーンジャーと結ばれました

鐘打ち男を追い出して、時告げる人を追い出して

私の愛する人が家に来てくれたのだから (メーラー・ピヤー・ガル・アーヤー)

ガァン、ガァンとなる鐘の音は

二人が一つになる妨げだ！

私の心の内を知るならば

鐘なんか壊していなくなれ！

私の愛する人が家に来てくれたのだから

妙なる音楽を奏でよ、楽師！

果てしなく響くあの歌を聴かせて

礼拝もその前の水浴びも忘れた

盃を満たせ、蔵元の主人よ！

私の愛する人が家に来てくれたのだから

カウワーリーの歌はすべて究極の恋愛歌謡といってよい。出会い、合一、別離といった愛の様々な場面を舞台にメッセージが紡がれる。

恋愛の相手はアッラー、ホダー、ラップ、ミヤーン、ムハンマド、アリー、フサイン、聖者、マーヒー、ラーンジャーなどの男性名で、文脈で「神」「預言者」「聖者」「尊師」「恋人」と解釈され、女性（信徒・人間）から男性（指導者・主・神）へと詠まれ歌われる形式をとる。

カウワーリーをより面白く聴こうとするとき、何度も繰り返されて歌われる主要詩（リフライン、ラハーウ）の部分を抑えることと、愛される対象の名前を聴きとれるよう集中すると何倍も立体的に愛のストーリーが迫ってきて感動できると思う。

なあと、自分の愛する人に対する恋歌だと思って聴いていればよいのだ。高尚な宗教哲学を難解なアラビア語ばかり並べたてて、知ったかぶりで聴いているような芸能だったら、

大衆歌謡として人気が出たりはしなかったはずだ。「カウワーリーを聴くことで誰でもスーフィーになることができる」とさえ言われているのだから。

最後にカウワーリー楽団の来日情報を！

今回来日するバダル・アリー&バハードウル・アリー兄弟楽団は、パキスタンで最初の国外公演を行ったサーブリー兄弟楽団や 80～90 年代のワールド・ミュージック界を席卷した故ヌスラット・ファテ・アリー・ハーンのようなカウワーリーの超大物ではない。ヌスラット以降、主にフランスのフェスティバルに呼ばれて西洋世界に名を残したメヘル・アリー&シェール・アリー兄弟楽団や、ファイズ・アリー・ファイズ楽団に比べれば無名といってよい。

しかし、パキスタン国内での主要音楽祭や聖者の命日祭のレギュラーであり、エジプト、UAE、イラン、オマーンといった中東諸国での音楽祭出演や二度にわたる日本公演のキャリアからも、その実力が平凡な無数のカウワーリー楽団とは大きく異なることは理解できよう。今がまさに旬。よい感じのバランスでパワーとボリュームと色気が輝いている。

と言っても納得していただき、ご最前になっていただくためには、今回の来日ステージを観て聴いていただくしかない。ここに発表されている公演日程を記しておきたい。

在日パキスタン人と日本人が共同で開催する交流イベントが、「パキスタン・ジャパン・フレンドシップ・フェスティバル 2019 @上野公園 (噴水前)」である。舞台プログラムは、無料で楽しめる。日程とカウワーリー楽団の出演予定時間は、8 月 10 日 :18:00 – 19:30、11 日 :18:00 – 19:30、12 日 :18:20 – 19:30、13 日 : 15:00 – 16:20、14 日 : 16:00 (with Madhu、ダンス伴奏なのでカウワーリーではない。独立記念日祝典セレモニーのなかのショートプログラムか) である。このイベントの楽しさは、パキスタン人たちのカウワーリーの楽しみ方を見ながら、パキスタン産のマンゴーを吸ったり、パキスタン料理とアルコール飲料という現地では御法度のマリージュを満悦することにある。一度あのマンゴーとカウワーリーを味わったら病みつきになること請け合いである。

私は、「聖者の宮廷講」(図 C) というスーフィー芸能を自由に敷居低く存分に楽しむ研究会を 2007 年から、音楽評論家のサラーム海上氏とやっているが、上記のイベントの前後に楽団支援を主目的にした研究会を三会行い、毎回違う視点で異なったカウワーリーの番組を解説 (紹介) つきでお届けする。



(図 C) 題字：石川翔芳

「メヘフィレ・サマー、カウワーリーを聴く会」(図D)

第一会「カウワーリー奥山道しるべ」
8月09日(金) 浅草・木馬亭
開場 19:00 開演 19:30 / 料金 3,000円 *事前振込優先入場
東京都台東区浅草 2-7-5
地下鉄銀座線・都営浅草線[浅草駅] 徒歩約12分
つくばエクスプレス[浅草駅] 徒歩約5分

第二会「カウワーリー温故知新」
8月17日(土) 代々木上原・hako gallery
開場 14:00 開演 14:30 / 料金 3,500円 *40名限定
東京都渋谷区西原 3丁目 1-4 2F
地下鉄千代田線・小田急線[代々木上原駅] 徒歩約5分

第三会「カウワーリー・パンジャービー」
8月18日(日) 代官山・晴れたら空に豆まいて
開場 12:00 開演 12:30 / 料金 予約 3,500円 当日 4,000円
*ドリンク代別、予約番号順入場
東京都渋谷区代官山町 20-20 モンシェリー代官山 B2F
東急東横線[代官山駅] 徒歩約3分

※全会場、駐車場はございません。
公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください。
※小学生以下は無料です。お連れの場合ご予約時に人数と年齢をお知らせください。

(図D) 聖者の宮廷講：カウワーリー三昧三会予定

8月9日:第一会は、カウワーリー・ショーケース的番組で、浪花節定席で有名な浅草の小劇場「木馬亭」で、カウワーリーの有名曲や式次第を村山の解説付きでお届けする。協賛の島根県「夢見る茶畑」(代表:上原美奈子)が無農薬・有機肥料で健康的に育てた茶葉で入れたお茶をお客に奉じる。8月17日:第二会は、現在満員となってしまいキャンセル待ちだが、現地の聖者廟の電源もないカウワーリー窟を想定して、ノーマイクでカウワーリーを聴く会をする。アミール・フスローやブッレー・シャー、アラマ・イクバル等の詩を特集して生音で聴く会とする。8月18日:第三会は、彼らの地元パンジャーブに戻ったような、現地に則したパフォーマンスを、あまり規制をかけずにのびのびと思う存分やっていたらこうという主旨で開

く予定である。サラーム氏もこの日は合流して、私と二人でカウワーリーを楽しんでいただくために奔走する予定だ。内容確認、問い合わせ、予約は以下のHPで行っているのので、ぜひ尋ねていただきたい。<https://kyuteikoh.wixsite.com/mehfil-e-sama>

どの日に関しても、自信を持ってお届けできる番組になる。乞うご期待である!

最後になったが、イスラマバードの日本大使館が今回の公演情報をフェイスブックで紹介して下さったことには大感謝である。そして私自身非会員とはいえ、長年お世話になってきた日本・パキスタン協会の会報でカウワーリーについて自由に書かせていただいたことは本当にうれしい。

どうか、どちらの記事にも興味をそそられて、一人でも多くの方が、バダル・アリー&バハードゥル・アリー兄弟楽団の音楽に触りに来ていただけると願っている。この日本公演を通して、日本人にカウワーリーというものに良いイメージを持っていただき、次回以降も、「ああ、あの音楽だったら楽しかったからまた聴いてみたい。また呼んでもらいたい。いや自分たちで呼んでみたい」と思っていたらというように全力を尽くす所存である。

(むらやま かずゆき・中央大学/立教大学兼任講師(南・西アジア文化研究))

パキスタン人男性初の 7 大陸最高峰登頂者 ～ミルザ・アリ (Mirza Ali) 氏

寺 沢 玲 子

先ず、表題が「パキスタン人初」ではなく「パキスタン人男性初」という記述に首を傾げる御仁がおいでだろう。その辺りの事情を少々説明したいので回りくどくなるがご容赦願いたい。

ミルザの妹サミナ (Samina Baig) は 2013 年 5 月 19 日に、22 歳でパキスタン人女性初かつイスラム教徒最年少エベレスト登頂者となった。

同行していたミルザは、己が世界最高峰の頂上まで一緒に行っては、サミナが「兄の力を借りた」と思われるから…と自分の登頂は断念して途中から妹を 1 人で行かせたという。パキスタン人女性の地位向上に尽力している彼らしい。

おりしも 2013 年はエベレスト初登頂 60 周年の年、サミナの登頂はザルダリ (Asif Ali Zardari) パキスタン大統領からも祝福された。

その後、サミナは翌 2014 年にはパキスタン人初、かつイスラム教徒初の 7 大陸最高峰登頂者となったが、それは勿論サミナの力量もあったからではあるが、サミナの行動でパキスタン人女性の地位向上を願う兄・ミルザの努力があったからだと思う。

ミルザ自身は、2015 年に 2 度エベレスト登山を試みるが登頂はならず、サミナの登頂から 6 年後の今年 2019 年 5 月 22 日、ついにエベレストに登頂、それまでに既にサミナ達と共に 6 大陸の最高峰には登頂していたので、この度の登頂成功により、パキスタン人男性初の 7 大陸最高峰登頂者となったわけである。



写真提供 INTERNATIONAL THE NEWS



エベレスト登頂のサミナさん

因みに、パキスタン人初のエベレスト登頂は2000年5月17日にナジール・サビル (Nazir Sabir) 氏によって成し遂げられている。古いパキスタン大使館にはナジール氏がパキスタン最高峰のK2頂上でアッラーに祈りを捧げる写真が飾られていたので、ご記憶にある方もおいでだろう。

兄妹はフンザ地方パサー村対岸奥ゴジャール (Gojal) のシムシャール (Shimshal) 出身。ミルザは1983年7

月10日生まれで現在36歳、1990年9月生まれのサミナの7歳年長である。シムシャールでは8年(日本式では中学2年?)までしか就学できないので、ミルザはその後グルミット (Gulumit) の高校へ進学するが就学中には外国人のトレッキング隊や登山隊のポーターとして働き、学費を稼いでいたという。

兄妹の育ったシムシャールもパキスタンの他の地方と同じく、子供たちも放牧などの手伝いで幼い頃から標高の高い場所へ行くが、ミルザが自分で初めて「登山」を意識したのは16歳、シムシャールのミングリ・サール (Mingli Sar = 6,050m) に登った時。それ以来、登山を含む野外活動に目覚める。

グルミットの高校を卒業後はカラチ大学に進み、大学卒業後は観光関連のいろいろな仕事に従事、時には従兄弟たちに混じって高所ポーターの仕事をしたりしているうち、こんなにも美しい自然をかかえているのに、地元の間人が主となって行っている活動が非常に少ない事、そして、登山などの野外スポーツに関わっている女性が殆どいない事に気付き、登山や野外活動を通じて女性のエンパワーメントやジェンダー問題を解決していこうと活動を始めたという。2012年のスパンティーク登山には閉鎖的なラホール (Lahore) からの女性参加者も招き入れた。また、イスラマバードのアメリカ大使館で一連の登山の写真展や映写会を催したり、メジャーなTV放送でもパキスタン人女性の活躍を知らしめる活動を行ったりもしてきている。

2010年、サミナを含む自ら組織した若者育成のNGO野外活動グループ Pakistan Youth Outreach それに Satwa Guna の面々と本格的に活動を開始、シムシャールのチャシュキン・サール (Chashkin Sar 約6,400m) に初登頂。この峰はサミナの業績により後にサミナ峰 (Samina Peak) と改名される。同年、パキスタン人女性たち初の冬季登山をミルザが初めて登った峰であるミングリ・サール (Mingli Sar 6,050m) で成功させる。2011年にはコー・エ・ブロバール (Koh-i-Brobar = Mt. Equality 6,008m) に初登頂し、その登山風景を動画で配信。

2012年には残念ながら天候に恵まれず、サミナの登頂はならなかったが、初の7,000m峰としてスパンティーク (Spantik 7,027m) へ。余談ながら、同峰へのパキスタン人女性

初登頂は 2017 年、前年に登山を始めたばかりの 43 歳の女性だという。

翌 2013 年 5 月のサミナのエベレスト登頂をきっかけに、ミルザはサミナや前出の若者たちと共に残りの 6 大陸最高峰登山を開始する。先ず、同年 12 月の南米大陸のアコンカグア (Aconcagua 6,961m) を皮切りに、2014 年 1 月、南極大陸のヴィンソン (Vinson 4,892m)、2 月、アフリカ大陸のキリマンジャロ (Kilimanjaro 5,895m)、3 月は周辺海域を含むオーストラリア大陸のカルステンツ・ピラミッド (Carstentz Pyramid 4,884m)、7 月には北米大陸のマッキンリー (McKinley 6,190m 註：現在はデナリ Denali の呼称が一般的) とヨーロッパ大陸のエルブルス (Elbrus 5,642m) に登頂し、サミナは 7 大陸最高峰登頂者となった。

2015 年にはオーストラリアの篤志家のサポートでパキスタン中から 33 名の若者を集めて初めてのスキーキャンプを開催した。

その後もコンスタントに女性や若い世代の野外活動を続けており、2017 年に NHK で放映された＜銀嶺の空白地帯に挑む～カラコルム・シスパーレ＞の登山隊入山時には、ミルザは女性登山者育成のためにパサー峰登山に来ており、BC で一緒だったとの事。



パキスタン大使館でスピーチをするサミナさんとミルザ氏

2015 年秋、私はそんなミルザとサミナ来日時のエスコートを大恩ある方に依頼された。頼りない私を心配した故・谷口けいが、穂高岳山荘の故・宮田八郎氏やパキスタン登山に詳しい飛田和夫氏を巻き込んで 10 月、パキスタン大使館から往復 1 泊 2 日で 2 人を奥穂高頂上に立たせた。この関連記事が「パーキスターン」No.255(2015/10)と No.257(2016/9：こちらは＜私の一枚＞

に谷口けいの写真が掲載) に少々掲載されているので、興味のある方はお目通し願いたい。

ご存じの方もおいでかと思うが、谷口けいは 2004 年のゴールデン・ピーク (スパンンティークのフンザ側の呼称) 登頂を始めとして、パキスタンの山数座に足跡を残している。登山界のアカデミー賞と言われる＜ピオレ・ドール＞賞を日本人としてかつ女性として初めて受賞した人物である。残念な事に 2015 年 12 月、北海道大雪山の黒岳で遭難死した。

また、飛田和夫氏は 1985 年の日本ヒマラヤ協会 K2 登山隊隊長で、その後幾度もフンザ対岸ヒスパー奥のキンヤン・キッシュ (7,852m) やミスガル周辺に通い続けたパキスタン大好き人間である。兄妹の郷里であるシムシャールにも 1995 年と 1996 年に足を運んでおり、ミルザはその折のポーターたちの集合写真を手に、写っている 1 人 1 人を誰某だと懐かしそうにサミナに説明していた。

話がそれたので元に戻す。2015 年の来日時に、2 人は日本で登山する事は伝えられていなかったようで超軽装、標高だけでみればシムシャールより低いものの、10 月の穂高岳はかなり冷え込む。何とか我々の装備や靴を貸し与えて登山する事ができた。

ミルザは何事にも積極的で、サミナが初めての日本食に食欲が減退する中、禁忌食品以外は全てトライし、駅弁や山小屋の食事を完食していた。本人曰く、「世界中を旅するためには先ず現地の食事に馴染むのはとても重要な事である」。そんなミルザにサミナは「私はパキスタン国内にいても、一番好きなのは家のご飯」と舌を出す。とにかく仲の良い兄妹である。



奥穂高岳の山頂で

大使館での歓迎会では、2人の縁戚にあたるパサー出身のアミン・ベイグ (Amin Baig) 夫人のタマミさんと長女のあかりちゃんが参席、兄妹は嬉しそうに一緒に写真に納まっていた。また、サミナが日本人女性 8000m 登頂者とも話してみたいとの希望があり、友人を通じて幾人もの女性が参席して下さり、サミナとの会話がはずんでいた。

ミルザはその後結婚、一児の父親になっているが、運営しているトラベルエージェント Karakorum Expedition は夫人のサミヤ (Samiya) がマネージャーとして切り盛りしており、ミルザは現在、バルトロ氷河奥の K2 ベースキャンプで登山の采配を振るっているという。

正直なところ、この手の記録にあまり興味の沸かない私だが、「パキスタン人初」のタイトルを妹に譲った形となったミルザの姿勢に心が動き、今回は彼の成功を手放して祝福したい。

世界的にまだまだパキスタン＝イスラム教の国＝女性の地位が低い・・・というイメージがあるようだが、外部からではなく、パキスタン国内からこのような動きがでているのは、同じパキスタンでもパサーやシムシャル側が多いように感じられる。実際、シムシャルからは多くの優秀な登山者や女性ガイドが輩出されているし、女性の野外活動も定着してきているような感がある。1990 年代末には私自身もシムシャルの女性との合同登山隊の申し出を受けた事もあった。この流れがパキスタン全体に無理なく受け入れられていく事を願っている。



(てらさわ れいこ・当協会会員。元日本ヒマラヤ協会常務理事)

東京写真月間 2019



「アジアの写真家たち 2019 パキスタン」開催

日本写真協会主催「東京写真月間 2019 アジアの写真家たち 2019 パキスタン」が、5月27日より3週間、都内の4カ所のギャラリーで開催された。東京写真月間の「アジアの写真家たち」シリーズは、2004年に写真を通じた国際親善と文化交流を目的にスタートして以降、様々なアジアの国をテーマにしている。16年目にあたる今年はパキスタンが取り上げられ、政府公認のパキスタン写真協会に所属する16名の写真家が参加した。

「私たちが持って来たものは、単なる写真ではありません。これらはLove(愛)とPeace(平和)なのです。」と語るのは、パキスタン写真協会のマスード・アメード・カーン会長だ。最近メディアの影響で、パキスタンに対し良くないイメージを持つ人が増えている事に胸を痛めていたカーン氏は、日本写真協会からこの写真展の開催を聞いた時、使命感に燃えたと言う。

「パキスタンは近隣の国と軋轢がある、治安が悪い危険な国など、連日マスメディアからは負のイメージを増長させる報道ばかり聞こえてきます。しかしパキスタンの大部分はそうではありません。美しい自然、人々の日々の暮らし、豊かな歴史と文化…。本当のパキスタンを、ぜひこの機会に我々の写真を通じて日本人たちに知ってもらいたいのです。」

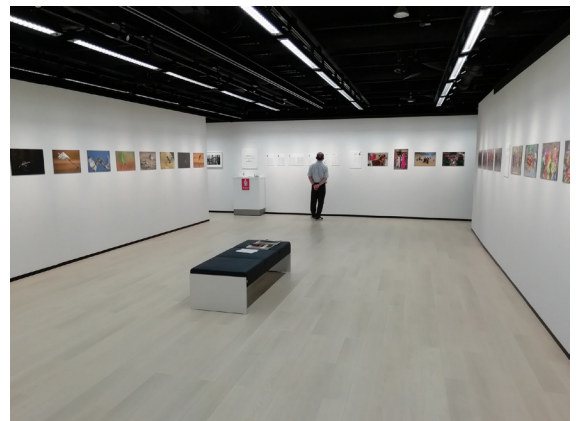


「本当のパキスタンを見てください」

パキスタン写真協会
マスード・アメード・カーン会長

パキスタン写真協会は、2万人の会員の中から国内のそれぞれの地域を代表する16名の写真家を選出し、彼らの140点にも及ぶ写真をこの写真展に出品した。

しぶきを飛び散らせ激しく体をぶつけ合うラクダ、まだ雪が残る急峻な峰々から流れる川に架かる細い橋、幻想的な夜のマーケット、収穫したばかりの赤唐辛子を大地いっぱいに広げる男性 …。



写真展の様子
ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1



撮影 アクタル・ハッサン・カーン



撮影 ナディーム・カワル



撮影 マスード・アメード・カーン



撮影 イクバル・カトリ



ザイディ臨時代理大使

パキスタン・イスラム共和国臨時代理大使、アリ・アンセル・ザイディ氏は言う。「我が国は、世界中の観光客に多くの年代に亘る人類の旅路と自然美を示す、ユニークな場所です。英国バックパッカー協会が2018年度、パキстанを旅先の第一位にランク付け、“地球上で最も友好的な国のひとつであり、想像を超えた山の絶景が見られる国。訪れる者は、この地域について持っていた全ての先入観が、今後永久に変わってしまう—そんな心構えでいて欲しい”と説明するのも納得です。この写真展で、ぜひパキスタンを知ってください。日本の皆様に次の休暇には、パキスタンを訪れたいと思ってもらえるようになるよう願っています。」

百聞は一見に如かず。一枚の写真は、見る者に百の言葉より多くを語ったに違いない。

(東京写真月間 2019 後援：外務省／環境省／文化省／東京都／パキスタン・イスラム共和国大使館)



6月1日写真の日事業「東京写真月間 2019」図録

パキスタンの写真家たち 16 名の作品掲載 (¥2,000 + 送料 ¥400)

ご希望の方は日本写真協会にお問い合わせください kamiya@psj.or.jp

パキスタン料理研究家・シャー真理子先生による

第21回 日本・パキスタン協会料理教室に参加して

(セッション杉並 料理教室にて 2019/05/25)

仲村 安広

今日の料理テーマ

1. ひよこ豆とゆで卵のカレー
2. スパイシーチキンのオーブングリルと生野菜
3. パラタ (油入り平型パン)
4. フルーツチャート (スパイシーフルーツサラダ)
5. チャエ (煮込みミルクティー)

【レシピ作成：シャー真理子先生】

1. ひよこ豆とゆで卵のカレー

材 料：

ひよこ豆 (茹でたもの)、タマネギ中、卵 (人数分、固めに茹でる)、ニンニク、生姜、コリアンダーの葉 刻んだもの、ヨーグルト、カットトマト、クッキングオイル、ミニトマト (パウダースパイス類)
コリアンダーパウダー、ターメリック、赤唐辛子パウダー、シナモンパウダー (ホールスパイス類)
ブラックペッパー、クミンシード、シナモンスティック、ベイリーフ



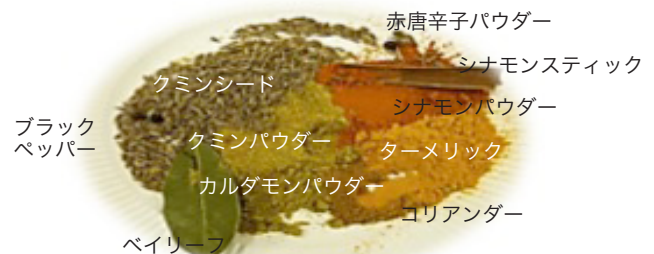
ひよこ豆



卵



材料類



作り方

(1) ひよこ豆はたっぷりの湯で茹で、柔らかくなったらずるにあげ、水気を切っておく。茹で汁はとっておく。

(2) 人数分の固茹で卵を作り、冷水で冷やしておく。

(3) 鍋に油を入れて熱し、スライスしたタマネギを入れ、薄いキツネ色になるまで炒める。

(4) ここに生姜、ニンニクを加え、香りが出てくるまで炒める。

(5) 十分に香りが出てきたら、鍋のわきに寄せ、空いたスペースにスパイス入れて、焦がさないようにゆっくりと炒める。スパイスに火が通り、香りが出てきたら全体をかき混ぜ、乾いてきたら再び少量の水を加え緩いグレイビーを作る。



茹で卵 (固めに茹でる)



玉葱を炒めたら (4) を入れる



ヨーグルトを加えて炒める

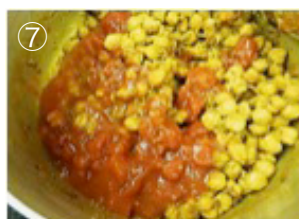
(6) ここにひよこ豆を加え、全体を大きくかき混ぜ合わせる。

(7) ヨーグルトを加えて更に炒め、全体にゆったりとしたとろみが出てきたら、トマトを加えて全体をまとめるようにかき混ぜる。

(8) 全体が纏まってきたら、残して置いたひよこ豆のゆで汁を入れ、足りない分は水を加えて、全体が隠れる程度にして、殻を剥いたゆで卵も加え、中火でしばらく煮込む。

(9) ひよこ豆がふっくらと柔らかくなり、グレビーと混ざり合ってもったりとしてきたら、塩加減を整えて火を止める。

(10) 器に盛り、半分に切ったゆで卵をその上に飾るように並べ、上から刻んだコリアンダーの葉を散らす。



⑦
更にトマトを加えよく混ぜる



⑧・⑨
調味仕上げが済んだら完成

雑学

ひよこ豆とは

カルバンゾ (Garbanzo)、エジプト豆、チャナ豆の呼び名でも知られている。また、見る人によって「羊の顔面」や「ヒヨコの口バシ」に見えたりする様だ。日本での知名度は低いですが、世界では大量に食されている。また、多くの国で栽培されている。古い統計 (2008) だが、インド (597 万 t)、パキスタン (84 万 t)、全世界では 900 万 t 以上生産されている。

スパイシーチキン

スパイシーチキンは人気メニューの一つ、多数のレシピがある。米国生まれの〇〇フライドチキンもその一つだ。日本生まれのスパイシーチキンをブランドにした、インド人革命家ビハリー・ボース直伝の本格印度カレーがある。大正期の書家兼画家の不折の筆になる看板を掲げた名店が現在も営業している。

2. スパイシーチキンのオーブングリル

材 料:

チキンもも肉 人数分、タマネギ、ニンニク、生姜 1 片、ヨーグルト、クッキングオイル、水溶き食紅、レモン汁、レモン、季節の野菜 (レタス、キュウリ、トマトなど)
(スパイス類)
クミンシード、コリアンダーパウダー、カルダモンパウダー、赤唐辛子パウダー

作り方

チキンもも肉は縦半分に切り、更に 3 ~ 4 切れに切り分ける。

(1) チキンをボールに取り、上からスパイス類を加えざっと混ぜ合わせる。更にタマネギ、ニンニク、生姜をすりおろしたものを加え、よく揉み込む。

(2) これに塩、ヨーグルト、水に溶した食紅、レモン汁、クッキングオイルを加え、全体をよく混ぜ合わせる。

(3) ラップを掛けて、冷蔵庫で 30 分程寝かせ、バットに並べる。

(4) オーブンを 200℃予熱して置く。バットにチキンを並べ 200℃で焼き色が付くまで焼く。焼き色が付きよい香りが出てきたら、裏返して同様に焼く。チキンは串がスムーズに通れば焼けている。



チキンもも肉につき



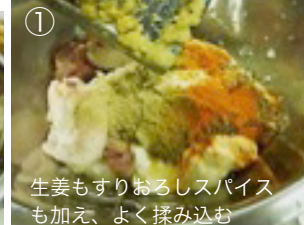
①
もも肉を半分に切り、更に 3-4 切れに切り分ける



②
ニンニクをすりおろす



③
タマネギもすりおろす



④
生姜もすりおろしスパイスも加え、よく揉み込む



⑤
30 分程寝かせた物をバットに



⑥
オーブンは 200℃で予熱して置き、バットを入れて焼く。ひっくり返し 150 ~ 180℃で焼き色が付くまで焼く。

(5) 水洗いした野菜類は食べやすい大きさに切って皿に盛りつける。焼きあがったチキンも盛り付け、くし形に切ったレモンを添える。



焼きあがったスパイシーチキン



真ん中にチキンを盛り付ける



盛り付けたスパイシーチキン

雑学

カルダモン

○ 植物としてのカルダモン：ショウガ目、ショウガ科、ショウズク属の多年草。原産地はインド、スリランカ、マレー半島に自生している。標高 500 ～ 1500m の高地で多雨、湿潤な林や水辺を好む。変種や近縁種（グリーンカルダモンとブラックカルダモンは別物）が多い。

○ kardamomum 名の由来：カルダモンとはヒンドゥー語で心臓の形をした生薬と言うそうです。Karda は心臓を表す kardia に由来し、amomon は生薬を表す amoumumni に由来すると言う説があるが、特定されてはいない。

○ 古代エジプトでは神殿の祈祷に「聖なる香煙」として用いられていた。また、古代において、暗殺の危機にさらされていた、王室の医者達はカルダモンの持つ殺菌力などに注目し、解毒剤として使用していたとも言われている。ミイラ作りに欠かせないものとして大量に使われていたと言われている。

○ スパイス カルダモン：地下茎から短い花茎を出し、赤や紫の筋が入った花を沢山咲かせ、淡い緑色の楕円形の果実を付けます。カルダモンは実をつけるまで 4 年以上かかるといわれ、栽培も収穫も手間がかかって難しい。

○ スパイスになるまで：花が終わって実が付く。実は青いうちに収穫し、表皮に皺が入るまで乾燥させてからスパイスとして使用する。表皮を剥くと中にゴマの様な種が入っている。ブラックカルダモンは種が 4 ～ 50 粒入っている。それを粉にしたものがカルダモンパウダーだ。カルダモンには大きく分けて 2 種類（グリーンとブラック）ある。

○ カルダモンはカレーやお菓子作り欠かせないスパイスで、ガランマサラの主要スパイスだ。

○ カルダモンは香りの King とも Queen とも言われている。

3. パラタ（油入り平型パン）

材 料：

アタ（全粒粉）＋打ち粉、塩少々、ベーキングパウダー、クッキングオイル パラタ 1 枚に小匙 1 程度のクッキングオイルをぬる。水 少量ずつ加えながら練っていく。

作り方

(1) アタ（全粒粉）、塩、ベーキングパウダーをボールに入れ、泡だて器などでよく混ぜる。

(2) 粉を真ん中に寄せ、ボールの壁面から水を少量ずつ加え、粉と混ぜる。耳たぶの固さになるまで捏ねる。

(3) 全体を纏めて、更に、2-3 度大きく捏ねたら、一個の大きなボールを作り

(4) 上から濡れ布巾かラップで包み、30 分ほど置いておく。



30 分程寝かせて置く

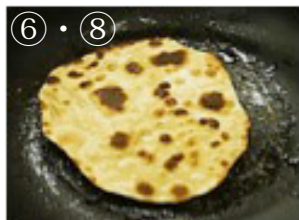
(5) 台に打ち粉を広げ、その上にちぎった生地をゴルフボール位の大きさに丸めたドウ(dough = パン生地 = こねた粉)を乗せ、綿棒などを使って、中皿程度の大きさに広げる。



ボール状に丸めドウを作る



(6) 熱したフライパンに小匙半分程度のオイルを広げ、伸ばして置いたドウ(dough)を入れて焼く。下面を焼いている間にドウの表面に小匙 1/2 程度のオイルを塗り広げ、表面がプツプツと膨らみ、乾いてきたら、裏返し同様に焼く。



(7) 焼きあがったパラタは皿に取り、布巾などをかけて、冷めないようにして置く。

(8) フライパンの表面はキッチンペーパーで綺麗に拭き取り、残りのドウを同じ要領で焼いてゆく。

4. フルーツチャート (スパイシーフルーツサラダ)

材 料:

季節の果物数種類 (リンゴ、バナナ、マンゴー、パイナップル等、ここではリンゴ、バナナ、蒲萄、キウイを使用)

(スパイス類)

赤唐辛子パウダー 少々、ブラックペッパーパウダー、クミンシード、塩、レモン汁、ミントの葉 (オプション)



作り方

(1) 細かく切った果物類はボールに入れ、スパイス類、塩、レモン汁を加え、トロリとするまでかき混ぜる。

(2) 料理が出来上がり、食べるまでの間、冷蔵庫で冷やしておく。食べる時小鉢に取り分け、ミントの葉があれば添えるとよい。



5. チャエ (煮込みミルクティー)

材 料:

紅茶 カップ 1 に対し適量、牛乳 適量、塩少々、砂糖 好みで適宜。



作り方

(1) 鍋に人数分の湯を沸かし、分量の紅茶を入れ、香りが出てくるまで中火で煮出し、そこに塩と牛乳を加え数分間沸騰させる。好みで砂糖を加える。

(2) カップに注ぎ分ける。

大皿に盛った野菜とスパイシーチキン



講師の指導のたまもので人気のスパイシーチキン、ひよこ豆のカレー、パラタとも美味しく出来たと自画自賛。但し、ひよこ豆はもう少し柔らかく出来たらと思う。フルーツチャートはスパイスが程よく効いて爽やかでした。感謝。次回はローガンジョシュも良い。ビリヤニも、マライコフタは？



今日の料理 4 種完成



Musharraf 大統領との友好

今泉 濬

この記念写真は 2008 年 3 月 23 日、場所はイスラマバードにある大統領府内の勲章授与式での 1 コマである。小生の写真左が Pervez Musharraf 大統領ご夫妻、大統領の後ろは Mian Soomro 首相ご夫妻、小生右隣は PJBF 会長 Kader Jaffer 氏、その後ろは在イスラマバード日本国臨時代理大使水谷章氏。

1999 年 10 月 12 日、軍事クーデターにより軍トップの陸軍参謀長と大統領職を兼務した Musharraf 大統領に小生が面談したのは 2001 年 12 月の初旬であった。場所は Rawalpindi の Army House で、彼は軍服姿で満面の笑みをたたえて迎えてくれた。2002 年の 4 月には外務省の賓客として公式実務訪問で初来日され、日本財界幹部と行なった Power Breakfast の時にもお会いした。それ以来親しく交際させていただいた。当時のパキスタンは、インドの核実験の後を追って核実験とミサイルを発射し、アメリカからインド、パキスタン両国とも経済制裁を受けていた。日本も制裁措置としてパキスタンへの ODA を止めていたが、その解除を小生は模索していた。大統領官邸で Musharraf 大統領と会見し、CTBT の署名を勧めた。Musharraf 大統領は「パキスタンはインドに 3 回戦争で負けている。これ以上インドの核の脅しには耐えられず、核を持つことで対抗しなければならない。戦争に使うのではなく、核による勢力均衡を図るのが目的である。」と国際政治学の勢力均衡理論を持ち出し我々に説明した。

小生が授章した勲章は Sitara-i-Imitiaz(『卓越した星』の意)である。この時の受賞目録は、「Mr. 今泉は 1978 年以来パキスタンと日本との経済・商業・文化交流の連帯・増進を図って来たパキスタンの友人である。世界第 2 位の建設機械メーカー・コマツのカラチ事務所長としてパキスタンと交流し、1984 年 4 月に開校した建設機械訓練学校（CMTI）設立に主要な役割を果たした。この学校は日本の無償援助で完成した。2003 年から日本・パキスタン協会会長としてパキスタンとの交流に貢献した。」と書かれている。

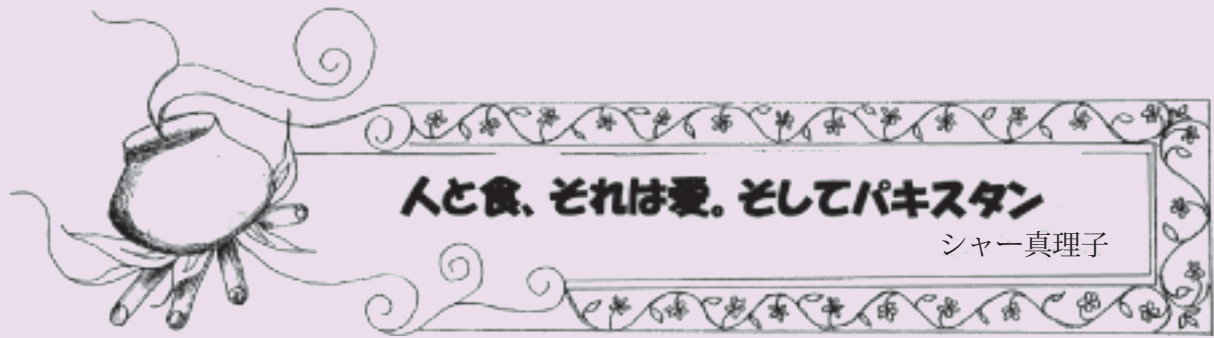
掲題の授賞式の写真に大統領府執務室で Musharraf 大統領が自らサインをしてくれた。

“To Mr. Imaizumi

A great friend of Pakistan Pervez Musharraf 17 Jul 08.”

執務室で大統領は「CMTI の卒業生が外貨送金に大変貢献してくれている。諸外国の援助は殆ど現金であるが、これは中毒になりいつまでも自立できない、いわば麻薬のようなものだ。日本は釣りに例えると「魚の釣り方」を教えてくれて必要な技術移転まで行ってくれた。日本人のように能力が高いパキスタン人には大変有り難い。」と話してくれた。Musharraf 氏は大学教授のような大統領であった。この写真は生涯忘れられない思い出となった。

(いまいずみ しゅん・当協会会長)



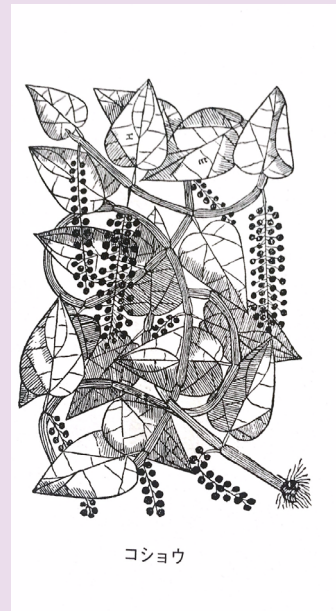
その 39

カレーはいつでもどこでも誰にでも愛される、日本のソールフードであるのは間違いないが、ここしばらくまた新たなカレーフィーバーが吹き荒れている。自分の理想とするカレーを研究し、自分のペースで店を開け、客に長蛇の列を作らせ、なくなったら‘はい、おしまい’とさっさと閉店するデザイナー・カレーイスト（私の造語です）も注目を浴びているし、日本のカレーフィーバーは日本国内に留まらず、カレーの専門店チェーンが海外の多くの国に進出を果たし、しかも好評を得ている。日本のカレーの面目躍如といったところだが、その極めつきは日本最大のカレー専門店チェーンがインドへの進出を目指しているというニュースだろう。権威あるカレーの総本山に新興グループが挑んでいくという構図なのだろうが、カレーという料理のないカレーの国に長年住んでいた私の胸の内は少々複雑だ。

なぜかといえば、カレーの総本山であるインドにもパキスタンにも元来カレーという料理の概念が存在しないからだ。カレーという独立した料理のジャンルもない。あるのはそれぞれの食材に最も相性のいいスパイス類を合わせて、順序立てて調理して炊き上げていく郷土料理なのだ。カレールーというものは本場のインド、パキスタンでは使わない。その習慣も伝統もないのだ。家庭でもプロの世界でも、料理する人は目の前に何種類ものスパイスを並べ

料理の手順に合わせて次々とスパイスを放り込んでいく。厳密には、その放り込み方にもきちんとした順序がある。インド料理の本来の姿は薬膳料理だから、材料に不適合なスパイスを合わせれば、健康に害を与える、という理論がある。数千年の歴史の中で学んできた不屈の食の整合性がインド料理の中には潜んでいる。宗教的な規制や地域の自然環境から生まれた理論も一つではないのだ。

長年の伝統の世界に生き続けるインドで日本のカレーが如何に勝負するか、少しドキドキしながら見守っている。



コショウ

出典：スパイスの歴史
フレッド・ツアラ著、竹田円訳
原書房、2014年

■ パキスタン・ニュース ■

□ 国 際 関 係 □

■ ADB が予算支援のために 34 億ドルの融資を提供 (2019 年 6 月 16 日付ドーン紙)

イスラマバード：アジア開発銀行 (ADB) は、財政支援のためにパキスタンに 34 億ドルの融資を提供すると発表した、とフスロー・バフティヤール連邦改革開発大臣ならびにアブドゥル・ハフீズ・シェイフ首相顧問が 15 日に述べた。

このニュースは、バフティヤール氏が記者会見で、ADB と財務大臣との間で合意に達したことを伝えたことによって明らかになった。

総額のうち 21 億ドルが、契約から 1 年以内に実行される。

■ カタール、パキスタンへの 30 億ドルの救済を約束 (2019 年 6 月 25 日付ドーン紙)

イスラマバード：ハフீズ・シェイフ財務担当首相顧問によると、パキスタンは 24 日、カタールから外貨預金と「直接投資」からなる 30 億ドルのパッケージの保証を受けた。

シェイフ氏がカタールのタミム・ビン・ハマド・サーニー首長に感謝の意を表明した。

これはパキスタンにとって 4 番目の「友好的支援」パッケージであり、パキスタンが来月初めに 60 億ドルの資金で IMF プログラムを正式に開始するまでに、今年度

中に総額 127 億ドルを超える二国間融資を受ける。

これまでのところ、サウジアラビア、中国、アラブ首長国連邦は、昨年 8 月に現政権が政権を握って以来、イスラマバードへの貸付および現金預金を約 97 億ドル増やした。

■ 米国は BLA をテロリストグループとして分類 (2019 年 7 月 3 日付ドーン紙)

ワシントン：米国国務省は 7 月 2 日、バローチスターン解放軍 (BLA) を、米国内で過激派を支援する世界的なテロ組織として指定した。この決定は、国連や他の国による同様の対応を促すこととなる。

別の声明で米国財務省は、米国内のすべての BLA 資産を凍結し、世界中の米国民がそれに関連した企業または人々との金融取引を行うことを禁じた。

イスラマバードの外務省は米国の決定を歓迎し、この指定により BLA の活動スペースが最小限に抑えられることを期待して、「パキスタンに対するこれらのテロ行為を称賛するものを含む加害者、組織、財務担当者および外部のスポンサーが説明責任を負わされ、正義がもたらされることが重要である」と声明の中で述べた。

BLA は、パキスタンとイギリスでもテロ組織としてリストアップされている。

■ 米国、ロシア、中国はアフガニスタンの和平プロセスにおけるパキスタンの役割を認識 (2019 年 7 月 13 日付ドーン紙)

ワシントン：ワシントンで国務省が発表

した共同声明の中で、米国、中国、ロシアは、アフガニスタンでの18年間の戦争と数十年にわたる流血を終わらせることを目的とした4者協議プロセスでパキスタンに対し共同で歓迎した、と述べている。声明では「パキスタンは、アフガニスタンの和平プロセスに関する中露 - 米三国間協議による建設的な努力を評価した」と付け加えた。

この声明は、アフガニスタンの和平プロセスにおけるパキスタンの役割を認めて、アフガニスタンにおけるいかなる発展もまたパキスタンに影響を与えたとの長期的な見解がイスラマバードで見られるであろうとしている。

イスラマバードはまた、パシュトゥーン人の最大の人口を持つ国として、アフガニスタンの和平プロセスに関与しなければならず、主要な世界大国、特に米国は、アフガニスタンでの交渉中にその利益を無視してはならないと考えている。

■パキスタンはレーコーディク事件で鉱山会社に59億ドルを支払う裁定を受ける(2019年7月14日付ドーン紙)

イスラマバード：世界銀行グループの5つの組織のうちの1つである国際投資紛争解決センター(ICSID)は、レーコーディクの訴訟で、パキスタンに対して59億7,600万ドルの巨額の賠償を命じたと発表した。

内訳は40億800万ドルの罰金と18億7000万ドルの利子を付与したものである。

事件の詳細は、裁判所によってまだ発表されていない。

連絡があったときに首相の特別補佐フィ

ルドース・アーシク・アワーンは、国際法に照らして法務省と検事総長がこの問題を調査していると述べた。

彼女は、政府が日曜日(今日)に正式な反応を出すことを期待していると述べた。

テシアン・コッパー・カンパニー(TCC)の経営陣は、114億33百万ドルの損害賠償を請求していた。

バローチスターン政府が同社からの要求を拒否した後、同社は2012年にICSIDに国際仲裁の請求を提出した。パキスタン政府と国際的企業との間の訴訟は少なくとも7年間続いた。

TCCは2012年1月12日にパキスタンに対して訴訟を提起し、ICSIDは2012年7月12日に法廷を構成した。

ドイツのクラウス・サックスが法廷長を務め、ブルガリアのスタニミール・A・アレクサンドロフが請求者を、イギリスのレオナルド・ホフマンがパキスタンを代表した。

レーコーディク鉱山は、その広大な金と銅の埋蔵量で有名で、世界で5番目に大きい金の鉱床があると考えられている。

レーコーディクは、バローチスターンのチャーギー地区にある小さな町で、ノークンディの北西70kmの砂漠地帯にあり、イランとアフガニスタンの国境に位置している。レーコーディクの鉱床は大規模な低品位銅斑岩で、総鉱物資源は59億トンの鉱石で、平均銅品位は0.41%、金品位は0.22g/トンである。このことから、鉱床の経済的に採掘可能な部分は22億トンで計算され、平均銅等級は0.53%、金等級は0.30g/トン、年間生産量は20万トンの銅と25万オンスの金と推定されている。

TCC は、2010 年 8 月にレーコーディクで鉱山開発の基盤を確立するための広範かつ詳細な可能性調査を完了し、2011 年 2 月に鉱山リース申請を環境および社会影響評価報告書とともに提出した。

プロジェクトの進捗状況は、2011 年 11 月にバローチスターン州政府が TCC の現地事業子会社によるレーコーディクに関する鉱山リースの申請を一時的に拒否した時点で停止した。

TCC は、2002 年のバローチスターン州の鉱物規則と同様に、会社とバローチスターン州政府との間のチャーギーヒルズ合弁会社協定 (CHEJWA) の下で、TCC パキスタンが法的にのみ認められる鉱山リースを合法的に受ける権利があるとの見解であった。

政府の要求その法的権利を保護するために、2011 年 11 月に TCC は 2 つのフォーラムで国際仲裁手続を開始した。1 つはオーストラリア間の二国間投資条約違反 (TCC が組み込まれている) である。そしてパキスタン、そして国際商工会議所でバローチスターン政府に反対し、CHEJWA の違反を主張した。

■首相がレーコーディク事件の巨額請求に対する調査を命じる (2019 年 7 月 15 日付ドーン紙)

イスラマバード：レーコーディク鉱業契約で裁定が下った 59 億ドルのペナルティに反応して、14 日、イムラン・ハーン首相は、パキスタンがこの苦境にどのように対応するかについて調査するための委員会の設置を命じた。

14 日にアヌワル・マンスール検事総長の事務所から発表されたアナウンスによれ

ば、裁定が予想外であったので、同委員会 はまた、パキスタンにそのような損失を被らせる原因となった要素、および間違いが今後繰り返されないようにするための教訓についても調査する。

しかし、誰が委員会の議長を務めるのかはまだわかっておらず、そのメンバーの名前は後日発表される予定である。

バローチ語で「砂浜のピーク」を意味するレーコーディクは、古代の火山の名前でもあり、その広大な金と銅の埋蔵量で有名で、世界で 5 番目に大きい金鉱であると信じられている。

そのプレスリリースでは、アントファガスタ PLC-TCC の親会社であるアントファガスタとバリック・ゴールドという、チリとカナダの事業体が共同で行う合弁会社-損害賠償には、鉱業リース拒否時のレーコーディクプロジェクトの公正市場価値を基準とした 40 億 8000 万ドルの補償と、17 億 5,300 万ドルの利息が含まれている。

しかし、パキスタンは、首相が委員会の設立を命じたこの長年の仲裁の内部見直しもやがて行われるだろうと述べた。

□ 国内関係 □

■経済白書 2018-19：白書は経済成長が 3.3%に減速すると同時に、厳しい状況を描く (2019 年 6 月 11 日付ドーン紙)

イスラマバード：データは経済の暗い絵を描き、アブドゥル・ハフィーズ・シェイフ財務担当首相顧問は、過去 10 年間の「経済の運営ミスと未解決の構造的問題」を非難しながら、2019 会計年度のパキスタンの経済白書を発表した。

白書は、急激に減速する経済の実相を示し、現会計年度の成長率は、目標の 6.2% に対してやっと半分を超す程度の 3.3% にとどまったことを述べている。

「長い海岸線、鉱物、天然資源、農業、そして人々が持つ大きな潜在能力にもかかわらず、なぜ私たちの弱点が再び目立つようになっているのかを説明しなければならない」とシェイフ氏は述べた。公共部門が赤字を作り、歳入以上の支出をし、外貨を稼ぐことなしに外部ローンに頼っていることに言及した。

白書は、すべての部門が今年度の目標を達成しなかっただけでなく、昨会計年度よりも数値が悪化していることを示した。

20 のサブセクターのうち合計 15 のサブセクターが目標を達成できず、そのうち 6 つが実際にはマイナス成長を示した。

これは、その特定のセクターに登録された活動の規模が縮小したことを意味している。

■連邦予算 2019-20：増税による連邦予算でも財政赤字の拡大を阻止できず (2019 年 6 月 12 日付ドーン紙)

イスラマバード：巨額な 1 兆 4,050 億ルピーの徴税計画にもかかわらず、連邦予算は、3 兆 1,500 億ルピー（GDP の 7.2% に相当する）に膨らんだ財政赤字を 2019 年から 2020 年の間に殆ど削減できない。

11 日に、ムハンマド・ハマード・アズハル経済担当大臣によって下院に提出された PTI 政府の最初の通年予算は、国際通貨基金 (IMF) とのスタッフレベルの合意に沿って緊急援助パッケージのため、経済のほぼすべての部門に猛烈な税金を提案しており、所得税および売上税からの回収に、

最大限の焦点を当てている。

予算に基づくもう 1 つの重要な決定は、織物を含む 5 つの輸出志向セクターへのゼロ評価設定の撤廃、および業界からの強い反対にもかかわらず通常の 17% の物品サービス税 (GST) を賦課することだ。

政府はさまざまな分野での GST の調整とゼロ評価の撤廃により、2 兆 5,000 億ルピーの増収を見込んでいる。

また、予算によって、非課税申告者の動産および固定資産の売買に対する制限が削除された。

また、砂糖、セメント、鉄鋼、および多くの食用品に対する税率が引き上げられ、工業化のための機械設備の輸入については、現在ハイバル・パフトゥンハー (KP) と合併されている部族地域を含め、円滑化が提案されている。

■経済混乱に対する責任を追及する委員会を設置と首相が言明 (2019 年 6 月 12 日付ドーン紙)

イスラマバード：イムラーン・ハーン首相は 11 日の夜に野党を非難し、過去 10 年間に PPP と PML-N の両政府が、この国を破産の危機に落とした 24 兆ルピーもの融資を受けたのかを調査するための強力な委員会の設立を発表した。

イムラーンは野党指導者の逮捕を良い予兆と見なしている。

元首相ナワーズ・シャリーフ、国会の野党の党首シャハバズ・シャリーフ、前大統領アースィフ・アリー・ザルダリーとマネーロンダリングをした彼らの家族に対して、首相は、彼等の財産が様々に増やされたことを国民に知らせるために数字を発表した。

「PPP と PML によって署名された民主主義憲章というのを私は『汚職憲章』と呼び、非常に強力に影響力がある人々が今では汚職の追及に直面しているので、国民は国の本当の変化を目撃した」と述べた。

「今、私は過去 10 年間に何が起こったのかを確かめ、パキスタンが良い状況にすることに关わるすべての人々に正義をもたらすため、強力な委員会の設立を命じた。」と述べた。

同委員会には、情報機関、連邦歳入庁、連邦捜査局、パキスタン証券取引委員会の代表が含まれ、首相の監督下で活動すると述べた。

■政府は、金持ちに税金の支払いを強いるとハーフィーズが言明 (2019 年 6 月 13 日付ドーン紙)

イスラマバード：財務担当首相顧問アブドゥル・ハフィーズ・シェイフ氏は、政府が安定した経済の基盤を築くために税率を高めて金持ちを怒らせることを選んだと言った。

「金持ちは国に忠実で、税金を払わなければならないだろう」と彼は 12 日に行われた予算後の記者会見で述べた。

彼は、連邦歳入庁 (FBR) のためではなく、自らのために財政収支をバランスさせる目的で、挑戦的な 5 兆 5,500 億ルピーの歳入目標を設定したと語った。

パキスタンが税金の GDP 比率で 11-12% と世界で最も低い国の一つであることを遺憾に思っていたと述べ、「他の国の金持ちは、私たちの金持ちよりもはるかに多くの税金を払っている。」と付け加えた。

■ 4 件のポリオ症例がバローチスターン

と KP から報告 (2019 年 7 月 9 日付ドーン紙)

イスラマバード：4 人の新しいポリオの症例が、バローチスターン州とハイバル・パフトゥンハー (KP) 州から報告されている。

2019 年の総症例数は 41 件に達し、2018 年の 12 件、2017 年のわずか 8 件と比較して急増している。

8 日、国家危機管理センター (NEOC) が発表した声明によると、バローチスターンの症例は Jaffarabad および Killa Abdullah の各地区から報告され、KP からの 2 件のケースは Bannu 地区から報告された。

すべてのケースにおいて、両親は子供たちの予防接種を拒否したことが報告されている。

■首相は、一般市民向け住宅プロジェクトを開始 (2019 年 7 月 12 日付ドーン紙)

イスラマバード：11 日、イムラーン・ハーン首相は、一般市民のための最初の住宅プロジェクトを開始した。

このプロジェクトは、PTI 政府の非常に意欲的な「ナヤー (新)・パキスタン住宅計画 (NPHP)」のもと、ベヘリア・タウン社が既に住宅計画を実施しているフルグラン地域の土地で開始された。

連邦政府職員住宅財団ワスィーム・バージュワ事務局長は、開始式典の後、「プロジェクトのための土地は非常に低い価格でベヘリア・タウンから提供された」とドーン紙に語った。

このプロジェクトでは、1 万 8500 戸の住宅 / アパートが住宅ローンベースで建設され、低所得層に提供されることを目指し

ている。

バージュワ氏は、「土地だけでなく、ベヘリア・タウン社の経営陣も、後にNPHPのために同じ地域に1万戸の住宅を建設する予定である」と述べ、住宅の売却後に土地の費用はベヘリア・タウンに償還されると付け加えた。

■ LNG 取引事件で元首相のアッバーシー氏が NAB に逮捕 (2019 年 7 月 19 日付ドーン紙)

ラホール：18 日、汚職取締局 (NAB) は LNG (液化天然ガス) 輸入契約事件に関し、元首相で PML-N の上級副代表のシャヒド・カーカン・アッバーシー氏を逮捕した。

これまでの注目を集めた事件とは異なり、NAB はアッバーシー氏の逮捕理由を明記しない方法を選択し、汚職取締裁判所にアッバーシー氏の拘引者名簿を提出するとしたので、PML-N に汚職取締局がまだ彼に対する「確かな証拠」が提出されていないと主張させる原因になった。

アッバーシー氏が逮捕されたとき、イムラーン・ハーン首相はラホールにいた。

PML-N は、逮捕継続をハーン首相の命令による「最悪の政治的迫害」と呼び、例え「NAB と Niazi (イムラーン・ハーンの意) の不当な連携」ですべての PML-N 首脳部が逮捕されたとしても、「不適切な PTI 政府の対人政策」に反対する声を上げ続けると述べた。

□ 経 済 関 係 □

■ 対外債務が 1,050 億ドルに急増 (2019

年 6 月 11 日付ドーン紙)

カラチ：今会計年度の最初の 9 ヶ月間に、対外債務残高 (EDL) は 106 億ドル増加し、2019 年 3 月末で 742 億ドルの公債を含み総額で 1058 億ドルに達したことが、10 日に発表された経済白書 2018-19 の中で発表された。

■ 世界銀行、税プロジェクトのために 5 億 1,800 万ドルを承認 (2019 年 6 月 15 日付ドーン紙)

イスラマバード：来年度の 5 兆 5,500 億ルピーの税収を目標とする連邦予算発表後、世界銀行は 14 日に、税収の向上と国民へのより良いサービス提供のためのコンプライアンス費用の削減を目指す 2 つのプロジェクトに対して 5 億 1,800 万ドルの融資パッケージを承認した。

世界銀行は声明の中で、4 億ドルのパキスタン歳入増加プロジェクトは、持続的な税収増加を実現する連邦歳入委員会 (FBR) に焦点を当てた支援であると発表した。

このプロジェクトは、税制を簡素化し、税および関税管理を強化するのに役立つ。

それはまた、技術とデジタルインフラと技術的スキルの面で FBR をサポートすると考えられる。

これにより、納税者情報のより効果的な使用と、よりのを絞ったコンプライアンスが可能になる。

政府は、低いコンプライアンス費用で税収を改善することを最優先事項として設定した。

■ アルト 660cc が発売 (2019 年 6 月 16 日付ドーン紙)

イスラマバード：15 日にパキスタン・

スズキ社は、メヘランに代わるアルト 660cc を発表した。

発表会場は、パキスタン・中国友好センターで、同社マネージングディレクターの原野匡史氏をはじめ同社のシニアマネージャーが、「パールレッド」カラーモデルと 6 色のカラーバリエーションのアルトを発表した。

メヘランの最初のモデルが 1989 年に発売され、以後 30 年間にわたりパキスタンで最も安い現地生産車として知られていたが、アルトはその後継車である。

新しいアルトは、初めて現地生産される 660cc モデルで、2 つのマニュアル車と 1 つのオートマチック車の 3 つのモデルがある。

価格は 999,000 ルピーから 1,295,000 ルピーの範囲となっている。

■パキスタン、イランはバーター貿易を促進することに合意（2019 年 7 月 6 日付ドーン紙）

イスラマバード：5 日にパキスタンとイランは、バーター貿易を促進するための商品を識別する委員会の必要性に合意した。

決定は、第 8 回パキスタン - イラン合同貿易委員会の最終会合で行われた。

パキスタン代表団はラザーク・ダーウード商業担当首相顧問が、イラン側はレザ・ラフマニ産業鉱山貿易大臣が率いた。

バーター貿易を開始するには、両国が競争優位性を持つ数品目を選ぶことが示唆され、パキスタン側はイランへ、小麦、砂糖、米、果物の輸出を強化することが挙げられた。一方イラン側は、特に農業、食品および医薬品において、パキスタンとイランとの貿易関係が実際の潜在力と一致していな

いという事実を認めた。

イランは、パキスタンからの 50 万トンの米の輸入に関心を示し、早期出荷に必要なメカニズムを考案しなければならないと強く主張した。

ダーウード氏は、貿易を円滑にするために、国境を越える自動車 / トラックに対する道路税や積荷税などのさまざまな課税措置の撤廃を提案した。

両国は、(2006 年に署名された) パキスタン＝イラン優先貿易協定が効力をなくしている現状から、その障壁を取り除くことを含む問題を解決することに合意した。

■ ADB は開発プロジェクトに 5 年間で 100 億ドルを融資（2019 年 7 月 9 日付ドーン紙）

イスラマバード：アジア開発銀行 (ADB) は 8 日に、今後 5 年間で様々な開発プロジェクトやプログラムのために今年度中に 21 億ドルの支出を含む最大で 100 億ドルの融資をパキスタンに拡大することを計画していると語った。

マニラに本拠を置く ADB は、2020 年から 2024 年までの新たな国別パートナーシップ戦略 (CPS) を策定するための一連の国別協議を行ったと述べた。

「ADB のパートナーシップ戦略は、政府の開発ビジョンと政策に沿ったものとなり、都市サービス、エネルギー安全保障、輸送、農業と水資源、教育、貿易、観光における開発資金への新たなアプローチの導入が期待される。」と ADB のパキスタン担当ディレクターのシャオホン・ヤンが述べた。

公共部門への投資に加えて、ADB は成長を刺激し輸出を活性化させるためにパキ

スタンで民間部門の事業の拡大を継続して支援する。

■自動車メーカーは生産を縮小（2019年7月10日付ドーン紙）

カラチ：自動メーカー各社は、売れ残りの在庫、新規予約およびスポット販売の減少、自動車価格の大幅な引き上げおよび新しい課税措置のため、今月の車の減産を決定した。

ホンダアトラスカーズ・リミテッド (HACL) は、7月12日から21日まで車の生産を中止することを決定した。

ホンダのあるディーラーは匿名を条件に、すでに過去2ヶ月間で土曜日を休日としていると述べた。

HACLの総売上高の40%を占めるホンダシビックに10%の連邦消費税 (FED) が課せられたことに加え、非納税者への販売規制問題により、同社の売上高は1月から圧力を受けている。

最新の予算で政府は、さまざまなエンジン出力の車両に対してFEDを2.5～7.5%の範囲で課している。その影響で、1月からホンダは以前の1日あたり220台のペースから約160台に生産を落としている。

車の価格は、関税や税金の変更、およびドルに対する持続的なルピー切り下げにより上昇している。

パキスタン自動車メーカー協会 (Pama) の統計によると、ホンダシビックおよびシティの現会計年度の11か月間の販売台数は前年同期の39,869台から37,083台に減少し、ホンダのBR-Vの販売台数は7,999台から4,593台に減少した。

一方、インダスモーターカンパニー

(IMC) は、今月の生産について、すでに土曜日に2回休日としたが、これに加え8日間車両を生産しないことを決定した。

同社関係者は、ルピーの切り下げ、2019 - 20年度予算の新規の税金と関税および高金利のために価格が急上昇したことによる消費者の購買意欲の低さにより、販売低迷の傾向を示したと見ている。

彼らは、全体的なビジネス環境は予算後に緊張し、繊維加工工場を含む多くの産業の操業停止と相まって業界に抗議をもたらしたと述べた。

しかし、現会計年度の11か月間の販売台数はこれまでのところ52,314台で、前年同期の47,866台に対して増加し、IMCにとって非常に好調であることが示されている。

■外国人投資家の信頼が高まる（2019年7月10日付ドーン紙）

ラホール：昨年、外国人投資家がみるこの国の治安、法秩序に対する認識が大幅に改善されたことが、海外投資家商工会議所 (OICCI) による調査結果で明らかになった。

先月行われた調査では、バローチスターンの治安状況は40%、カラチとラホールで70%改善され、そこにはほとんどのOICCIメンバーの事務所が置かれている。

調査によれば、目に見えて改善された治安状況は外国人投資家の信頼を高め、OICCIメンバーの上級管理職による訪問が65%以上増加したことに反映されている。

セキュリティ環境が改善されたことで、多くの外国人ビジネス訪問者や貿易代表団は、それぞれの大使館や旅行セキュリティ

機関からパキスタンへの訪問のための旅行許可が与えられた。

■海外からの送金額は 9%増の 218 億 4 千万ドルに達する (2019 年 7 月 11 日付ドーン紙)

カラチ：10 日にパキスタン中央銀行が発表したデータによると、19 年度の総送金額は、前年度から 9%増加し、218 億 4100 万ドルとなった。

データは、中東以外の国々からの流入が前年よりかなり高く、国の外貨準備高が著しく改善されたことを示した。

湾岸諸国の中では、リヤドとイスラマバードの二国間関係の改善を受けて、サウジアラビアからの流入が最も多く、前年同期比で 2.97%増の 50 億ドルとなった。

さらに、米国からの流入も前年度と比較して 20.15%増加して 34 億 900 万ドルとなった。米国からの送金は、イスラマバードとワシントンの関係が悪化しているにもかかわらず増加している。

一方、イギリスからの送金も 17.9%増加し、34 億 4 千万ドルとなった。

さらに、アラブ首長国連邦からの送金額は 19 年度に 5.98%増加し、総流入額が 46 億 1900 万ドルとなった。

マレーシアからは、19 年度中の流入が 35%増の 15 億 5100 万ドルとなり、海外からの送金のもう 1 つの重要な国として浮上している。

■ 2018-19 会計年度の自動車販売は減少 (2019 年 7 月 12 日付ドーン紙)

カラチ：この国の自動車部門は、通貨の大幅な切り下げ、新しい税の導入、高金利、および燃料価格の高騰のため、2018-19

会計年度において暗い局面で終えた。

この分野では、スズキアルト 660cc、新規メーカーの JAC および、いすゞのピックアップトラック・D-Max を含む、いくつかの新モデルが登場した。

厳しい市況にもかかわらず、トヨタカローラ、スズキカルタスおよびワゴン R は、比較的良好な業績を上げたが、2018-19 会計年度の実績は 207,630 台で、前年度の 216,789 台に対し、4.2%の減少となり自動車販売の全体的な減少を阻止することができなかった。

トヨタカローラの当期実績は 56,720 台 (前年度実績 51,412 台)、スズキカルタスは 22,763 台 (同 20,483 台)、ワゴン R は 32,614 台 (同 29,206 台) であった。

この国の自動車総売上高の最大の部分を通常占めているスズキメヘランとボランの売上高の不振が大きな影響を与えた。

さらに、パキスタン・スズキ社 (PSMC) は、メヘランとボランの 2 つのモデルの生産を停止したので、その結果、メヘランの販売台数は 31,981 台 (前年度 46,221 台) に急減、ボランの販売台数は 17,628 台 (前年度 21,738 台) に減少した。

ホンダシビックとシティの販売台数は 39,189 台 (前年度 42,810 台) の実績であった。

バスの売り上げは、日野、マスター、いすゞの 3 社で 935 台で、前年度の 762 台から改善したが、一方、国の経済活動のバロメーターと呼ばれているトラックの販売は、5,823 台で、18 年度実績の 9,331 台から減少した。

シャージャール・キャピタルの調査では、ルピーの対ドル 31%までの下落、非納税顧客に対する購入制限、金利の 12.25%の

上昇及び自動車メーカーによる値上げなどの影響で2019-20年度の売上高は、前期比9%減の176,000台と予測した。

■外貨準備高が減少（2019年7月12日付ドーン紙）

カラチ：7月5日に終わる週の間にパキスタン中央銀行（SBP）によって保有されている外貨準備金は1億8900万ドル減少して70億8,300万ドルとなった。

SBPは、11日に公式プレスリリースで、7月9日に9億9,140万ドルの国際通貨基金からの最初のトランシェを受け取り、その結果SBPの外貨準備高が80億3,500万ドルになったと発表した。

一方、商業銀行の外貨保有高は71億7,500万ドルで、国全体の外貨準備高は、142億5900万ドルとなった。

■ホンダはパキスタンで生産を一時停止し、インダスマーターも続く（2019年7月13日付ドーン紙）

ラホール：ホンダアトラスカーズパキスタン（HACP）は12日、10日間工場を閉鎖した。その理由は、予算に盛り込まれた新税や税率アップとここ数週間の急激な通貨切り下げに対応した自動車価格の引き上げにより販売が低迷し、在庫が2,000台も積みあがったためである。

同様に、パキスタンでトヨタモデルを生産しているインダスマーターカンパニー（IMC）も、毎週2日間、月間で8日間、自動車生産を停止することを決定した、と同社関係者がドーン紙に語った。

しかし、パキスタン・スズキ社のスポークスマンは、今月中の販売動向と予約注文の流れを分析した後、会社が今後数日以内

に生産を削減するかどうかの決定を下すとドーン紙に言った。

■FDIは4年ぶりの最低水準に落ちる（2019年7月16日付ドーン紙）

カラチ：中国 - パキスタン経済回廊（CPEC）の第1段階が完了した後、北京からの流入がなくなったため、対外直接投資（FDI）は50%減少して4年ぶりの最低水準を記録した。

パキスタン中央銀行が発表したデータによると、FDIは前年同期の34億7100万ドルから17億3,700万ドルに半減した。

政府が大きな財政上および金融上の必要性ならびに脆弱で不均衡な経済成長を克服するために重大な経済的チャレンジに苦勞しているときに、厳しい数字に見舞われた。

CPECが第2段階に入ったため、19年度中に、主要投資家である中国からの流入は、18年度中の20億ドルに対し、5億4,000万ドルに減少した。

当期の英国からの流入は、18年度の2億1,200万ドルに対し、2億3,000万ドルでほぼ横ばいであったが、その他の重要な流入は、日本から1億1,800万ドル、ノルウェーから1億1,500万ドル、UAEから1億180万ドル、トルコから7,370万ドルであった。

■パキスタン・スズキ社は生産を削減する計画はないと言明（2019年7月18日付ドーン紙）

カラチ：日本の大手自動車メーカー2社が一部生産停止に踏み切る中で、パキスタン・スズキ社（PSMC）は、部品供給業者に7月から12月の平日に生産の削減も、工場の停止もしないと表明した。

17日に地元のホテルで開催されたサプライヤーとの調整会議で、PSMCの経営陣は7月から12月の生産計画を共有した。

会議に参加したベンダーは、会社は今年の上半期に6万台の生産を計画するが、下半期には7万6千台を生産すると発表したと述べた。

同社経営陣は2019年の生産目標について、年初に決定されたものと同じであることをベンダーに説明し安心させた。

政府が1月以降に様々な対策を通じて中古車の輸入を抑制してきているので、その減少分を埋める大きなチャンスがあるため、生産は心配する必要がないとも述べた。

■日本は農業プロジェクトに520万ドルを提供（2019年7月19日付ドーン紙）

イスラマバード：日本は、パキスタンでの国連農業食品産業開発プロジェクトの遂行に520万ドルを提供する。

この点に関し、18日に国連工業開発機構の代表は、プロジェクトのさまざまな機能を議論するために連邦大臣との会合を開いた。

このプロジェクトは、新しい技術の導入を通じて牛肉や果物の生産を強化することを目的としている。

これは、ハイバル・パフトゥンハー（KP）とバローチスターンの地方で農民の生活を向上させ、地方の貧困を減らすと国連機関は信じている。

■自動車労働者は販売の急落で失業する可能性（2019年7月25日付ドーン紙）

ラホール：自動車業界は、自動車販売が減少している中で、今後数ヶ月のうちに直接雇用の少なくとも10～15%が失われ

る可能性が高いと懸念している。

先の厳しい時期を警告して、業界関係者は急激な通貨安のために自動車価格が上がることで、エンジンの大きさに応じて2.5-7.5%の範囲で連邦税の課税されることおよび厳しい経済情勢などの要因で、全体的な売上に影響を及ぼすであろうと述べた。

自動車販売は昨会計年度に7%減少しており、専門家たちは現在の会計年度中にさらに15～20%市場が縮小することを恐れている。

主な減速は1,300CCを超える自動車の販売で見られ、国内のホンダとトヨタ両方のメーカーが在庫をクリアするために月の間に生産を大幅に縮小することを余儀なくされた。

ホンダアトラスカーズパキスタン（HACP）の幹部は、匿名を条件にドーン紙に語った。

「売上の減少は、製造業者の利益の減少と政府の税収の減少を意味する。

政府が我々に対する税金を削減することによって価格を引き下げるのを助けない限り、自動車産業の減速は逆転することはない」と彼が付け加えた。

■米国はパキスタンとのより大きな経済的関与を示唆（2019年7月31日付ドーン紙）

ワシントン：米国とパキスタンは、両国間の戦略的関係が引き続き改善すれば、二国間貿易をさらに強化することができる、とホワイトハウスのファクトシートで30日に発表された。

ファクトシートは、「平和と安定に向けての取り組み：「経済的繁栄の構築」と題して、米国とパキスタンが両国に利益をも

たらず強力な経済的パートナーシップを享受していることを強調している。

公式文書は、パキスタンと米国が昨年 6 億ドル相当の商品を売買し、二国間貿易の新記録を樹立したと指摘している。

□ 協 会 関 係 □

7 月 23 日（火）に、協会理事会社の YKK 株式会社の黒部事業を当協会の今泉 濤会長と平島成望評議員、水嶋一雄評議員、岩田弘専務理事の 4 名で訪問しました。

当日は、同社代表取締役猿丸雅之会長をはじめ、執行役員の小林聖子氏、黒部事業所長の浅野慎一氏、ファスニング事業本部の古川裕二氏、及び工場の方々から懇切な説明を頂きました。

YKK グループは、世界 72 か国でファスニング事業と AP 事業を中核としてグローバル事業経営体制で展開されています。

黒部事業所は、富山県黒部市の黒部川扇状地に広がる広大な土地に YKK グループの各社が事業を推進されています。

この地は、近年北陸新幹線が開通し近くに駅が出来たため、東京とのアクセスが日帰り出来るほど飛躍的に良くなっていることも強みになっています。

同社のさらなる発展を祈願しております。

◆第 33 回シンポジウム・パークスターン 2019 開催のお知らせ◆

第 33 回シンポジウムを下記の通り開催します。

チラシができ次第発送しますので、ご予定に入れて頂けましたら幸いです。

詳細につきましては、追ってご連絡いたします。

※

◇とき 11 月 9 日（土）10:30 ～ 17:45（18:00 より懇親会）

◇ところ 日本大学文理学部 3 号館 4 階 3408 教室（東京・桜上水）

◇会費 会員 2,000 円・一般 3,000 円・学生 1,000 円 / 懇親会費 3,000 円

編

☆インドが6日、ジャンムー・カシュミール州の自治権を認めている憲法の規定を削除し、連邦直轄地とする憲法改正を強引に決定した。これ

集

に対し、領有権を争っているパキスタンのイムラーン・ハーン首相が「国連安保理決議の明白な違反」だと強く抗議した。安保理はこれまでカシュミール地方は「中立地」で帰属決定のための住民投票を促す決議を採択してきた。しかし、この地域にはイスラム教徒が多く住民投票をすれば不利になるためインドはこれを受け入れていない。インド人民党は、この春の総選挙でジャンムー・カシュミール州の特権取り消しを掲げて勝利したという背景があり、その公約を実現させたといえる。国連のグテレス事務総長は、両国に自制を求める声明を発表し、また、米国の国務省報道官は、「すべての当事国に対し、実効支配線に基く平和と安定の維持を求める」と表明した。トランプ米大統領も仲介の意欲を示している。しかし、インドは長年この問題での他国の介入に反対の立場であり、モディ政権としても、介入を許せば国内で弱腰と見なされ国民の支持を失いかねないので簡単には仲介に応じないとみられる。両国は核保有国であり、国際社会も重大な懸念を表明している。今後、パキスタンがどのような行動をとるかが注目される。

☆ハーン政権は、2つの重要な政策を実行に移した。1つは、汚職摘発のための首相直轄の強力な機関設置である。10年にわたるPPPとPML-L両政権での汚職を徹底的に取り締まろうとしている。2つ目は、IMFからの緊急援助を受けざるを得なくなった財政の立て直しのための増税政策である。パキスタンの担税率の国内総生産（GDP）比は世界的に見て最低水準であるが、歴代の政権は自らに跳ね返る増税策は取ってこな

余

かった。今会計年度の予算には、富裕層に対する増税を盛り込み、明確な姿勢を示したのは特筆される。（岩田 弘）

滴

パーキスターン

266号

（令和1年8月号）

令和1年8月8日発行

編集兼発行者 岩田 弘

発行所 公益財団法人 日本・パキスタン協会

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-29-14 伊藤第2ビル202号

tel.: 03-5327-3588 fax: 03-5327-3598

e-mail: kyokai@japan-pakistan.org

URL: <http://www.japan-pakistan.org>



Association's 2018 Financial Statements Approved

Mr. Seishiro Eto, Japan-Pakistan Parliamentarian's Friendship League
President Honours with the “Hilal Pakistan”

Contract Farming and Agribusiness: New Trends in Pakistan's Agriculture
KUROSAKI Takashi

The Background of the Origins of Pakistani Business Groups
KAWAMITSU Naoki

Qawwali is Comming to Japan! MURAYAMA Kazuyuki

Mirza Ali Baig – First Pakistani Man to Scale 7 Summits
TERASAWA Reiko

The Month of Photography, Tokyo 2019

21th Pakistan Cooking Class NAKAMURA Yasuhiro

My Memorial Photo (150) IMAIZUMI Shun

Food for heart, Food for thought, Pakistani way (39) Mariko K. SHAH

Pakistan News